

事業報告書

令和5年度

施設名 本牧地区センター

指定管理者 株式会社 清光社

1 施設管理に関する基本方針

事業計画	事業報告
<p>(1)施設の管理運営について</p> <p>① 基本理念について</p> <p>② 予算の執行について</p> <p>③ サービスのあり方について</p>	<p>(1)施設の管理運営について</p> <p>① 基本理念について</p> <p>② 予算の執行について</p> <p>③ サービスのあり方について</p>
<p>(1) 施設の管理運営について</p> <p>令和4年度の基本理念を踏襲しながら、新しい取り組みを実施します。</p> <p>① 基本理念について</p> <p>当社は、市や区のパートナーの指定管理者として、「横浜市地区センター条例」の設置目的や「中区区政運営方針(令和4年度版)」等の関連施策を理解し、施設機能を十分理解した上で、区民の信頼にこたえられるよう、地区センターの設置目的と区政運営方針への貢献に向けた管理運営を行います。</p> <p>昨今、コロナ禍で少子高齢化や地域交流、人間関係の希薄化等様々な問題が顕在化しており、一人ひとりが安全にいきいきと健康的に暮らすことやまちの魅力を発見・発信し、次代を担う世代に継承していくことが益々重要になってきています。</p> <p>地区センターは「住民の福祉を増進する施設」「住民の利用に供するための施設」であり「住民サービスを行うための主要な手段」であることを念頭に置いて、公平公正な管理を軸とし、事業の効率性及び利用者サービスの向上を目指します。</p> <p>② 予算の執行について</p> <p>令和4年度の遂行状況をレビューし、予算計画の見直しと適正化を図り、「年間収支計画」を策定し、指定管理経費の変動に耐えられるコスト管理を実施します。特に幅広い分野で物価高騰が本格化してきたため、支出増に対する管理を徹底し、収入と支出のバランス管理を迅速に行うことにより、ただ単に経費を削減するだけでなく、利用者サービス向上につながる経費に関しては適切な費用をかけつつも、効率的な取組を行い、それ以外の経費に関しては弊社のスケールメリットを活かして積極的に削減するよう取り組みます。</p> <p>③ サービスのあり方について</p> <p>利用者サービスとは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。①簡便・公平を目指した令和5年6月利用分からのネット予約システムの導入②研修を通じたスタッフの接遇レベルの向上③各種マニュアルに基づいた公平なサービスの提供④適時適切な情報発信(Web、広報媒体の活用等)を推進します。利用者サービスを実施する場合には、アンケート等を活用し、利用者ニーズを的確に把握し、入念な実施計画を作成し実行します。</p>	<p>(1) 施設の管理運営について</p> <p>① 基本理念について</p> <p>基本理念をはじめとする会社としての理念・活動方針を利用者にも確認していただくよう掲示し、自らも方針や理念を再確認することで、公平公正な事業運営を実行して参りました。</p> <p>② 予算の執行について</p> <p>コロナ禍の活動制限が令和5年5月の5類変更に伴い緩和され、利用状況の復活を期待しましたが、特に高齢者を中心に一度中止した活動の戻りは芳しくありませんでした。加えて、令和5年度は、利用の公平性の観点から多頻度利用団体の優先予約制度を4月から廃止し、6月からのネット予約システム導入に伴う団体再登録でお教室形態の見直しを行い、中スポーツセンターの6月からの再開による利用減が重なり、大型イベントやPR強化を中心に挽回策を打ちましたが、稼働率や利用者数、部屋利用料金が減少しました。なお、利用者数にはカウント方法の変更(連続コマや続き部屋の場合の人数積算廃止)による減少も影響しました。一方、自主事業収入は講座増やレディース向け麻雀教室の盛況で予算を大きく上回りました。</p> <p>支出面では事務費の縮減および予防保全や自前補修による修繕費の縮減に努めました。一方、利用者サービスにつながるセンターまつり関連や自主事業、ニーズ対応については、適切に支出しました。また、ネット予約による負担増やアルコールなど感染症対策の一定レベルでの継続もあり、費用面でのより一層の効率的な管理が課題として継続しました。</p> <p>今後、利用者サービスの向上とPR強化に努め、利用者を増やすことによる収入増を目指す一方、全ての費目で効率的な運営による費用縮減に取り組みます。</p> <p>③ サービスのあり方について</p> <p>簡便・公平を目指すネット予約を予定通り6月より導入しました。ネットに不慣れな代行入力者向けサービスとして、空き情報を照会できるタブレット端末を受付カウンターに設置しました。</p> <p>利用者へのサービス向上を目指し、毎月休館日に職員・スタッフ向けに、休館日研修を行い、接遇、人権、個人情報保護、安全衛生・KYT、消防訓練、救命救助、社会教育、環境保全、認知症サポーター養成講座、子ども理解、ネット予約操作、設備・備品管理などに取り組みました。</p> <p>また、シフト勤務の職員・スタッフ全員への情報共有として、毎月実施する全員を対象とした研修会や、毎日の日報、シフトの交代時での朝礼昼礼夕礼などで情報伝達を確実にし、情報の欠落をなくし公平なサービスが行えるよう徹底してきました。</p> <p>7月より地区センターだよりを月刊化し、講座案内やお知らせをタイムリーに提供し、サークル紹介や本牧推し活記事によりフレンドリーで親しみやすい地区センターづくりに努めました。</p>

1 施設管理に関する基本方針

<p>(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について</p> <p>① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方</p> <p>② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携</p>	<p>(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について</p> <p>① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方</p> <p>② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携</p>
<p>(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について</p> <p>① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方</p> <p>当施設周辺地区においては、老年人口が一貫して増加傾向にあると同時に、若い世代や子育て世代を含む、比較的新しい住民が多く居住されており、そうした住民の施設利用が今後増加することが想定されます。このような地域特性の中で、地域の絆や、つながりを醸成して地域を活性化するために、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした、住民の相互交流を生み出す自主事業やサービス提供が求められます。ゆえに、当センターでは、誰もが気軽に楽しみ相互交流を生み出せる「情報交流型活動拠点」としての機能を充実させるとともに、ユニバーサルサービスの導入等で誰もが利用しやすい施設環境、安全面を確保します。</p> <p>さらに、当地域の歴史・文化的な資源であり、緑の拠点でもある三溪園や本牧山頂公園、コミュニティハウス、横浜市八聖殿郷土資料館、地域ケアプラザ、イオン本牧店等と連携した世代間交流事業が望まれていることは、この地区ならではの特性であり、これまでも地域諸団体と連携し事業構築にあたってきました。その他、「環境」や「防犯対策」等に住民の関心が寄せられています。これらの地域特性やニーズを着実に汲み取り、施設運営にあたります。</p> <p>なお、地域ニーズは毎年変わる可能性がありますので、利用者との会話やアンケート等を継続的に実施します。また、当社のスタッフの多くが地域住人のため、日常生活で感じる課題等を引き続き収集し、当施設の管理運営に反映していきます。</p> <p>また、コロナ禍による巣ごもり化への対応として、人とのふれあい、交流の場の創出に取り組みます。</p> <p>② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携</p> <p>中図書館やオリブ工房他公共施設や公共で主催されるイベントに参加し、レクリエーション活動を実施することにより、地区センターの事業に興味を持っていただくように交流事業を実施します。また、本牧地区センターを拠点とする団体が実施するアウトリーチ活動を支援することで、広域的な地域コミュニティを創出します。</p> <p>災害時には、中図書館やオリブ工房と連動した避難誘導等が実施できるように、防災訓練を共同で実施し、有事に備えます。</p>	<p>(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について</p> <p>① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方</p> <p>令和5年度は、コロナ禍の行動制限解除により大型イベントの開催に力を入れました。5月に35周年記念防災スタンプラリー（中消防署より地域住民の防災意識向上への取組みとして感謝状を戴きました）、11月に4年ぶりのセンターまつりを従来以上の規模で開催し親子連れを中心に大盛況となりました。また、12月のウィンターコンサート、2月のスプリングコンサートも前年を上回る観衆を集めることができました。</p> <p>地域活動への参画として、ライトアッププロジェクトやお馬流しに絡めた自主事業、地元商店街主催の本牧かぼちゃまつりへの参画、八聖殿館長による本牧歴史講座の月例開催などを実施しました。</p> <p>本牧山頂公園、八聖殿、大鳥中・本牧中コミュニティハウス、本牧原・本牧和田地域ケアプラザ、イオン本牧店をはじめとする地域所在施設との連携事業についても、従来以上に取り組みました（ぶらりHONMOKUスタンプラリー、合同作品展、共催自主事業などを開催）。</p> <p>また、7月より地区センターだよりを月刊化し、その中で「本牧推し活」コーナーを設け、毎月地域で活躍する施設や団体取材し、本牧の良いところをみんなでシェア!を合言葉に、地域の活性化を目指した活動にも取り組んでいます。本取材により地区センターがより地域に入り込み、連携範囲の拡大につながることも期待しております。</p> <p>② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携</p> <p>中図書館、オリブ工房とは毎月連携会議を行っており、日頃の情報交換をはじめとする大きなイベントへの相互協力を実践してきました。中図書館とは中区ブックフェスタへの参画で連携しましたが、オリブ工房とは秋の地区センターまつりは単独で実施したいとの申し出があり本年は共催できませんでした。</p>

1 施設管理に関する基本方針

<p>(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サービス提供に関する基本的な考え方 ② 施設の利用に関する取扱いについて ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて 	<p>(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サービス提供に関する基本的な考え方 ② 施設の利用に関する取扱いについて ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて
<p>(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サービス提供に関する基本的な考え方 利用者サービスは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。的確な利用者ニーズの把握を行うとともに、入念な実施計画を作成し、サービス向上に努めます。 ② 施設の利用に関する取扱いについて 地区センター業務全体を利用者の視点に立って分析し、「公平公正の観点」及び「人権への配慮」等の複数の事象を考慮して、事業の効率化を図ります。優先枠や減免については、条例・規則・利用要綱に則り、運用いたします。対象とならない申請は、ルールとその意義を十分に説明し理解を求めます。なお、ネット予約システム導入に伴い、利用要綱を令和5年4月1日付で一部改正します。 また、営利目的、設置目的に反する利用については、的確な説明を行い、理解をいただいた上で利用の制限を行います。 ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について 相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障がい者が安心して利用していただくために、職員・スタッフの社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、サービス向上に努めます。 また、地域住民のニーズに対応した自主事業を企画・実施することにより、新たなコミュニティ創造に貢献します。このため、年度初めに計画した自主事業を、その時点でのニーズに対応するために適宜変更することで、より利用者ニーズに近づけるよう柔軟に対応します。 ④ ご意見、苦情及び情報公開の取り扱いについて 利用者のご意見・ご要望を多方面で受け取り、真摯に改善・反映します。利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くのご要望をお聞きし、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、具現化する体制を構築いたします。 情報公開については、横浜市情報公開制度に即した「本牧地区センター個人情報保護マニュアル」を作成し、広く情報公開を行います。また、情報開示請求があった場合には、横浜市の情報公開規程に則り、「本人・代理人確認」、「開示等受付報告書」による受付、「要求事項への可否審査」等を確実に実施し、個人情報の取り扱いを厳重に行います。なお、利用案内・利用要綱・事業計画・事業報告書等は、地区センター窓口、ホームページ等で、常時、閲覧が可能な状態にします。 	<p>(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サービス提供に関する基本的な考え方 利用者の声(投書)をはじめとする多様なご意見を真摯に受け止めて、早急に改善できるものは区役所地域振興課にご相談し、実行してきました。 特に苦情を承るような案件については、苦情の背景を詳細に検討し、実行できるものは速やかに取り組んできました。しかし、利用者個々のご要求は幅広く、かつ公平性に問題が生じるものもあるため、ご意見を吟味し、地域振興課ご担当者と連携を図って対応してきました。 ② 施設の利用に関する取扱いについて 利用頻度の高い団体への優先予約適用について、市民局への苦情ならびに公平公正の観点から、区役所地域振興課や地域連絡会へのご相談やご審議も経て、令和5年4月利用分から廃止しました。 また、ネット予約移行時の全団体の再登録では、営利目的となるお教室・習い事形態や宣伝販売などの活動がないかを一件ずつ確認し審査をしました。 こうした見直しは、一部利用者の利便性を下げ、一時的には稼働率を下げるものとなりますが、地区センターの目的である地域住民の自主的活動や交流を深める場という存在意義に沿ったものであることを説明し、ご理解をいただきました。 ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について 6月からのネット予約への移行(ネット予約システムは令和5年3月より稼働)に際し、前年度より団体登録やネット予約の仕組みや操作方法に関する相談や質問が非常に多く、利用者への説明やお知らせ、受付・電話での個別対応で、丁寧な対応に総力を上げて取り組みました。 また、ネットに不慣れな方への対応として、代行入力の際に空き状況を一覧で見られるタブレット端末を受付カウンターに設置し、予約申込への支援を行いました。また、スマホ操作の講座を開催しました。 ④ ご意見、苦情及び情報公開の取り扱いについて 先に触れましたように、今年度は優先予約廃止や団体登録の審査により、一部の方に利便性低下や利用形態の見直しをお願いすることになりました。このため、新制度をご理解頂くための、利用者説明会や館内掲示、ホームページ、地区センターだよりなどによる情報公開に努めました。 また、投書やアンケートでいただいたご意見・ご要望については、すぐに改善すべきものは対応するとともに、館内掲示、ホームページでの公開、利用者会議での説明を行いました。

1 施設管理に関する基本方針

<p>(4) 施設の経営に関する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の経営に関する基本方針について ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて 	<p>(4) 施設の経営に関する考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の経営に関する基本方針について ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて
<p>(4) 施設の経営に関する基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の運営に関する基本方針について <ul style="list-style-type: none"> 利用率向上に伴う利用料金収入を基本とし、新たなサービスを企画・実施します。幅広い事業展開を行うとともに、地区センター管理運営方針に即した魅力ある自主事業及びイベント等を開催いたします。 ■ 地域住民の自主的活動および相互交流を深める場としてのサービスを提供します。 ■ 公平公正な管理と利用者サービスの向上を図ります。 ■ 自治体、地域諸施設、自治会、学校他と連携し、社会貢献活動に積極的に取り組みます。 ■ 誰もが参加しやすい自主事業を実施します。 ■ 不具合箇所の早期発見、早期補修に努め、今後もより快適な施設となるよう館内の設備修復を計画的に行います。 ■ 社会的要請に努めます。令和4年度は9月に男性用トイレにサンタリーBOX を設置し、男性用尿漏れパッド捨て対応サービスを開始しました。また、11月にお薬シート回収 BOX を設置し、横浜市の全国初の試みに協力するとともにゴミ分別への認識向上に努めました。 ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について <ul style="list-style-type: none"> 5 つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】【JISQ15001 (個人情報保護マネジメントシステム)】の手法とPDCAを活用し、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。 経費節減については、総合ビルメンテナンス業及び指定管理業務の経験を生かし、ハード及びソフトの両面から計画的にコストの縮減を行います。また、他の地区センターや類似施設のベンチマーキングにより、有効な手段を取り入れ、コスト削減を促進する体制を継続します。 ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて <ul style="list-style-type: none"> 環境保全の取り組みとして、「地球環境の保全」という大きな視野に立って対応して参ります。『グリーン購入の促進』『緑のカーテンの設置』等を推進いたします。 年間指定管理経費に余剰金が発生した場合は、老朽化設備・備品の更新を積極的に行い、利用者が快適に施設を利用できる環境を整備いたします。さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、慈善活動としての寄附又は横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献します。 	<p>(4) 施設の経営に関する基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の運営に関する基本方針について <ul style="list-style-type: none"> 先に掲げた経営に関する基本方針に基づき、年度初めの休館日研修会で年度活動目標を全員で共有し、計画に基づき、活動を行ってきました。 ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について <ul style="list-style-type: none"> 収支計画と実行においては、毎月の出納結果について本社からフィードバックを受け、収支計画を具体的に検討して実行してきました。しかし、本年度は制度変更や中スポーツセンター再開により利用料金収入が減る一方、将来の利用者拡大となる大型イベント実施による諸費用や追加時間外が発生し、厳しい収支結果となりました。 なお、不具合あった修繕や取替は全て速やかに行い、換気やアルコール等の衛生管理も一定レベルで継続しコロナやインフルエンザ等の感染予防にも努めました。 ④ 横浜市の環境対策に対する取組みについて <ul style="list-style-type: none"> 自主事業で横浜みどりアップ計画、GREEN×EXPO 2027、チューリップあふれるまち事業に関わるイベントを積極的に実施しました(計回)。また、緑のカーテン設置やグリーン購入においても継続的な取り組みを行うとともに、地区センター外周スペースを活用した草花の植栽にも努めました。 さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献しました。

1 施設管理に関する基本方針

<p>(5) 職員体制・情報保持等の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 職員の配置及び採用について ② 職員の研修計画について ③ 個人情報の保護の措置について 	<p>(5) 職員体制・情報保持等の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 職員の配置及び採用について ② 職員の研修計画について ③ 個人情報の保護の措置について
<p>(4) 施設の経営に関する基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本年度の運営に関する基本方針について <ul style="list-style-type: none"> 利用率向上に伴う利用料金収入を基本とし、新たなサービスを企画・実施します。幅広い事業展開を行うとともに、地区センター管理運営方針に即した魅力ある自主事業及びイベント等を開催いたします。 ■ 地域住民の自主的活動および相互交流を深める場としてのサービスを提供します。 ■ 公平公正な管理と利用者サービスの向上を図ります。 ■ 自治体、地域諸施設、自治会、学校他と連携し、社会貢献活動に積極的に取り組みます。 ■ 誰もが参加しやすい自主事業を実施します。 ■ 不具合箇所の早期発見、早期補修に努め、今後もより快適な施設となるよう館内の設備修復を計画的に行います。 ■ 社会的要請に努めます。令和4年度は9月に男性用トイレにサンタリーBOX を設置し、男性用尿漏れパッド捨て対応サービスを開始しました。また、11月にお薬シート回収 BOX を設置し、横浜市の全国初の試みに協力するとともにゴミ分別への認識向上に努めました。 ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について <ul style="list-style-type: none"> 5つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】【JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム）】の手法とPDCAを活用し、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。 経費節減については、総合ビルメンテナンス業及び指定管理業務の経験を生かし、ハード及びソフトの両面から計画的にコストの縮減を行います。また、他の地区センターや類似施設のベンチマーキングにより、有効な手段を取り入れ、コスト削減を促進する体制を継続します。 ③ 横浜市の環境対策に対する取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 環境保全の取り組みとして、「地球環境の保全」という大きな視野に立って対応して参ります。『グリーン購入の促進』『緑のカーテンの設置』等を推進いたします。 年間指定管理経費に余剰金が発生した場合は、老朽化設備・備品の更新を積極的に行い、利用者が快適に施設を利用できる環境を整備いたします。さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、慈善活動としての寄附又は横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献します。 	<p>(5) 職員体制・情報保持等の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 職員の配置及び採用について <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、年初より計画通りの職員配置(館長1人、副館長2人、受付12人、清掃2人、計17人)を実施しました。 ② 職員の研修計画について <ul style="list-style-type: none"> 毎月休館日に、館長を議長に全員が参加する研修会を開催しました。 研修会では、情報共有のための伝達事項と、講師を立てた研修(接遇、人権、個人情報管理、安全衛生・KYT、消防訓練、救命救助、環境保全、社会教育、認知症サポーター養成講座、子ども理解、ネット予約操作、設備・備品管理)を実施し、職員全員の実践力向上に努めました。 ④ 個人情報の保護の措置について <ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月の休館日研修時に、本社部長を講師とした個人情報管理研修を実施しました。 講義の他、ワークショップ、ビデオ研修、理解度テストを行い習熟度の向上に努めました。 また、令和5年10月に本社による内部監査を受け、令和6年3月に横浜市中区役所による現地検査を受け、当地区センターについては改善指摘事項はありませんでした。 今年度は令和5年3月25日から始まったネット予約の稼働に向け、何が個人情報か、また、ネット予約に関する各種問い合わせの中で答えられるもの・答えられないものを切り分け、受付作業における個人情報管理を徹底しました。 さらに、メールの誤送信を防ぐため、令和5年10月より清光社全体でメール誤送信防止ソリューションの入ったメールシステムに切り替えました。

1 施設管理に関する基本方針

<p>(6) 緊急時対策について</p> <p>① 防犯、防災の対応について</p> <p>② その他緊急時の対応について</p>	<p>(6) 緊急時対策について</p> <p>① 防犯、防災の対応について</p> <p>② その他緊急時の対応について</p>
<p>(6) 緊急時対策について</p> <p>① 防犯、防災の対応について</p> <p>施設の管理運営においては、施設利用者の事故や施設内での不審者・不審物等の発見、自然災害発生による被害等、さまざまな緊急事態が想定されます。</p> <p>当施設は不特定多数の方が利用する施設のため、施設内外のリスクの洗い出しや日常巡回の徹底等により事故・犯罪等の発生予防につなげます。施設設備の故障に関しては、定期点検と日常点検による早期発見に努力し、施設管理者である中図書館と連携して早期解決を図ります。具体的には以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■職員による1日3回以上(開館時・開館中・閉館時)の施設内外の見回りや、6S活動を引続き推進します。 ■巡回時はチェック表を活用し、設備故障、利用者の事故、不審者等の早期発見に努めます。 ■忘れ物や盗難等にも注意を払い、注意喚起の掲示を行います。 ■巡回中に設備等の故障を発見した時は利用者への危険性に応じて迅速に補修や安全対策を行います。 ■施設巡回や点検・清掃作業時に気づいた点は、毎日の業務日報や「危険源改善箇所申告書」に記載し、早期改善を図ります。 <p>② その他緊急時の対応について</p> <p>(ア) 初動対応</p> <p>利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠し指定管理者職員および勤務時間外職員の招集を行い、救援活動拠点機能を確保します。令和5年2月に防火訓練(通報、初期消火、避難誘導)を実施しました。</p> <p>(イ) 二次災害の防止</p> <p>建物・構築物の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。</p> <p>(ウ) 救急救命スキルの維持</p> <p>横浜市消防局の方にご指導頂き、職員及びスタッフ全員が「救急救命講習」を受講しました(令和2年8月)。令和5年7月に資格更新講習を予定しており、今後も継続的に技術の向上を図ります。</p>	<p>(6) 緊急時対策について</p> <p>① 防犯、防災の対応について</p> <p>活動計画に掲げている各項目は、チェックリストを活用して日々問題点の把握に努めています。令和5年度は、幸いにも問題になるような事案はありませんでした。</p> <p>② その他緊急時の対応について</p> <p>年2回の消防訓練を実施しており、本年度は本牧和田消防出張所長の指導の下、令和5年7月に救急救命講座を受講し職員全員が普通救命講習修了証を取得しました。また、令和6年2月に防災訓練(通報・初期消火・避難誘導・ケガ人対応)を実施し、緊急時の初動対応、二次災害の防止、救急救命スキルの維持・向上に努めました。令和5年度も継続的に実施する予定です。</p> <p>なお、令和5年度は5月21日に開館35周年記念イベントとして「防災スタンプラリー」を開催し、地域の方にもしもに備えた防災知識や体験学習をしていただきました。本イベントは、地域住民の防災意識向上に努めたということで、令和6年1月に中消防署長より感謝状をいただきました。</p>

1 施設管理に関する基本方針

<p>(7) 施設の保全について</p> <p>① 建物・設備等の保守・点検について</p> <p>② 清掃業務について</p>	<p>(7) 施設の保全について</p> <p>① 建物・設備等の保守・点検について</p> <p>② 清掃業務について</p>
<p>7) 施設の保全について</p> <p>施設維持管理の主体者である中図書館と連携し、緻密な業務計画を策定・実施します。また、詳細な記録及び調査を行い、確実な業務改善を実施します。</p> <p>① 建物・設備等の保守点検について</p> <p>不具合箇所の早期発見・早期補修により設備機器の長寿命化・エネルギーコストの削減を実施します。また、日常点検時・定期点検時において発見された不具合については、不具合状況をデータ化するとともに、必ず臨時補修を施し、安全性を確保いたします。</p> <p>なお、機器の安全性・経済性を考慮した結果、建築物並びに機器の更新が必要な場合には、中区地域振興課並びに施設管理者である中図書館のご担当者と協議を行います。</p> <p>② 清掃業務について</p> <p>常に快適な状態を確保できるよう、6Sを徹底するとともに、乳幼児や高齢者、障がい者の視点に立つて施設内を点検し、清掃管理の改善を行います。日常清掃を実施することで、衛生美観の長期維持を図ります。トイレ等は特に、伝染病等の感染リスク低減のため除菌清掃の徹底を図ります。インフルエンザやノロウイルス感染の原因になる嘔吐物に関しては、迅速に処理を行い、拡大を防止するとともに、流行時には稀釈した塩素系溶液にて清掃を行い拡大予防に努めます。入口でのアルコール消毒液の常設を継続します。</p>	<p>(7) 施設の保全について</p> <p>施設維持管理の主体者である中図書館と連携し、緻密な業務計画を策定・実施するとともに、日頃何か不具合があればすぐに連絡・相談しています。また、詳細な記録及び調査を行い、確実な業務改善を実施しました。</p> <p>また、毎月開催している中図書館、オリブ工房、本牧地区センターの責任者による3館会議で、保守管理状況の共有を図り、確実な実行を進めて参りました。</p> <p>① 建物・設備等の保守点検について</p> <p>令和5年度は中図書館と一緒に当地区センターの全館LED化が横浜市のZero Carbon Yokohama(2030年迄に高効率照明100%)の一環として実施されました。令和5年から6年にかけての年末年始を中心に工事が行われ、照明器具がより明るく、省エネ、長寿命となりました。</p> <p>体育室の排煙窓で昨年度故障の発生した箇所について、令和5年4月に交換用機材が確保でき、修理を完了しました。</p> <p>体育室A面バスケットボールのゴール板不具合により、A面でのバスケットを令和5年2月下旬より使用不可としてきましたが、令和5年6月、横浜市が最新規格対応のゴール板としてA面とC面の2枚を取り替えました。</p> <p>小会議室排煙窓より部品の経年劣化による雨漏りがあり、令和6年3月に劣化部品の取り換え修繕を行いました。</p> <p>その他、館の運営上必要な電気工事や補修・交換工事を行いました。</p> <p>② 清掃業務について</p> <p>専任清掃スタッフによる日常清掃の他、障子の張り替えや卓球台の修繕などをスタッフで行い、費用の抑制に努力しました。</p>

2 自主事業に関すること

<p>(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主事業について ② 自主事業の運営方法について ③ PRの強化について 	<p>(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主事業について ② 自主事業の運営方法について ③ PRの強化について
<p>(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主事業について <p>近隣の施設と連携するとともに、地域住民をはじめとした人と人との交流を育み、つながりを深める拠点としての役割を果たすとともに、横浜市中期計画基本戦略「子育てしたいまち次世代を共に育むまちヨコハマ」に沿い、中区の目指す姿「オール中区」の一翼を担うことを目標に、自主事業運営を行っていきたいと考えます。</p> ② 自主事業の運営方法について <p>地域住民の自主的活動の援助及び新たな地域コミュニティの創造、地域住民の相互交流、地域課題の解決を目的として開催し、講師はできる限り地元に住む方に依頼をいたします。また、近隣施設と連携することにより、小額の参加費で魅力ある自主事業を計画し、年齢・性別を考慮した幅広い層が参加できるよう実施いたします。また既存団体・サークルの自主的活動及び相談・広報支援を行い、幅広い活動のサポートを行うとともに、地区センターで実施する自主事業を協働で行い、新たなコミュニティ創造の可能性を模索します。このため、本計画書に添付した自主事業計画書をもとに、お客様のニーズに対応するために適宜変更を行い、最大効果が得られるよう実施します。</p> ③ PRの強化について <p>近隣施設へ出張し実施するアウトリーチ活動や近隣施設連携事業の軸を担うことにより、より一層本牧地区センターの事業をアピールします。</p> <p>地元自治体及び小中学校へも積極的に出向き地区センターの事業のアピールと共に地域課題の情報を収集します。</p> <p>本牧地区センター専用のホームページを活用し、より多くの方に本牧地区センターを知っていただく機会を設けます。具体的施策としては以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広報よこはま なか区版・イベントお知らせちらしの地区センター内掲示、自治体掲示板への依頼。地区センターだよりの発行を継続します。 ■ ホームページで利用者団体を紹介することで、ホームページの閲覧頻度を向上させ、サークル活動への参加促進や本牧地区センター利用の誘導を行います。 ■ 地元紙・地元FM局をはじめ、各種媒体に事業活動内容の掲載依頼(ブリーフィング)を実施します。 <p>■ ホームページのお知らせを効果的に使用し、本牧地区センターや地域の情報掲載を増やすことで、地域との連携を強化します。</p> 	<p>(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自主事業について <p>令和5年5月のコロナの制限解除に伴い、10月に4年ぶりとなった地区センターまつりを、5月に開館35周年記念イベント「防災スタンプラリー」を開催するなど、大型イベントの実施に力をいれました。また、横浜市の方針(子育てしたいまち次世代を共に育むまち、横浜みどりアップ計画)に沿い、乳児のパパママ向けおんぶ教室を開講したり、横浜市民の森・花の庭園の散策、森林ヨガなど、みどりに触れる機会の増加に努めました。なお、子育て関連では、令和6年4月より当館にて子育て相談(ぷっくりんこ)が再開されることもあり、より一層強化していく計画です。</p> ② 自主事業の運営方法について <p>まだ巣ごもり化の傾向が残っており、好評のヴォイストレーニングやピラティス、散策、森林ヨガに加え、体の歪み解消、気功とつぼの講座など、地域の方々が心身ともに穏やかに健康で過ごすための提案事業を行いました。</p> <p>また、本牧地域の施設をより身近に知っていただくためのスタンプラリーや本牧かぼちゃまつり、焼き芋・クラフトづくりとその作品展などを、近隣公共施設(商業施設も含め)と企画・実施しました。また、八聖殿相澤館長による本牧の歴史講座を毎月1回開催し、実は結構面白い本牧の歴史を紹介しています。その他、地域人材(指導者)の協力を得て新規事業を取り組んだり、活動サークルでの体験事業を実施しています。毎年、多くの方が楽しみにされている年末の吹奏楽コンサートは、昨年度は3年ぶり、今年度はより多数の観客を集め実施しました。</p> <p>大型行事の開催や講座での新しい試みにチャレンジし、地域住民の繋がりを深める拠点の役割の一端を担いました。</p> ③ PRの強化について <p>近隣施設連携事業の軸を担う事により、より一層本牧地区センターの事業をアピールして参りました。本牧地区センターのホームページを活用し、多くの方に本牧地区センターを知っていただく機会を設けました。具体的施策としては以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地区センターだよりを令和5年7月号より月刊化し、館内掲示・町内会回覧・ホームページへの同時掲載で活用しました。月刊化により鉱山案内やお知らせをタイムリー化し、サークル紹介ではサークル活動への参加促進を本牧推し活では本牧地域の活性化とともに当館の地域との連携活動の拡大につながることを目指しました。 ■ 自主事業から発展した事後サークルを中心に体験参加を募集し、サークルのメンバー増を支援しました。 ■ 地元紙・地元ラジオ局 等、各種媒体に事業活動の掲載依頼を実施しました。 ■ ホームページのお知らせの量を増やし効果的に活用しました。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

<p>(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて (目標 稼働率 56%)</p> <p>(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて (目標 利用料金収入 4,400,000 円)</p> <p>(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて</p> <p>(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて</p>	<p>(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて (目標 稼働率 コマベース:56%、時間ベース:53%)</p> <p>(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて (目標 利用料金収入 4,400,000 円)</p> <p>(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて</p> <p>(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて</p>
<p>(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて 令和5年度は、優先制度見直しによる減少が見込まれますが、自主事業の地区センターでの実施回数を増やすことで稼働率の向上を目指します。目標稼働率:56% また、自主事業の事後グループの形成・アウトリーチ活動の助成などの環境作り、利用者が主体となる活動を応援していくことで、稼働率向上に引き続き取り組みます。同時に稼働率の低い和室や料理室利用の講座を強化・推進してまいります。</p> <p>(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて 令和5年度利用料金収入目標 4,400,000 円を目指します。 利用率向上・利用料金収入増のため、スタンプカードの導入については、特別優先枠を継続している利用者へのメリットがないため継続検討課題とします。</p> <p>(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の取り組みについて 「子育て支援」「シニア支援」「青少年育成」「環境保全」等の地域の課題を改善するための自主事業を展開するとともに、「異世代交流」「異文化交流」の場を提供し、地域の解決に結びつけます。横浜みどりアップ計画関連の事業も継続して実施いたします。 例年実施している、子育て支援事業やシニアの健康・生きがいがづくり、また子どもから大人まで楽しめる吹奏楽コンサート、読書の日イベント、各種料理講座、小中学生を対象としたわんぱく事業等、地域の方々を講師にお迎えし、誰でもが参加しやすい講座も継続して開催します。地域の祭りやイベントにも積極的に参加・協力し、活気ある町づくりの一助を担います。</p> <p>(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて 提案内容を精査し、目標達成を意識した進捗管理を行います。利用要綱が変更になる案件に関しては、地区センター委員会及び利用者会議に諮り、計画を推進いたします。 ■地区センターまつりの実施 令和2～4年度、コロナ禍で中止としましたが、令和5年度は11月に4年ぶりの開催を予定しています。集客・PRと職員のノウハウ継承を目指します。 ■開館35周年記念イベントの開催 5月21日(日)開催を予定しています。(1989年5月23日開館) ■ネット予約システム導入に伴い、ホームページへのアクセス増が見込まれることから、ホームページを活用した広報・PR活動を強化します。 ■新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策 今後、5類への移行等の動きや感染状況を確認しながら、横浜市・中区からの感染症対策、及び利用条件に沿った対応をして参ります。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて コロナ禍の活動制限が令和5年5月の5類変更に伴い緩和され、利用状況の復活を期待しましたが、特に高齢者を中心に一度中止した活動の戻りは芳しくありませんでした。加えて、令和5年度は、利用の公平性の観点から多頻度利用団体の優先予約制度を4月から廃止し、6月からのネット予約システム導入に伴う団体再登録でお教室形態の見直しを行い、中スポーツセンターの6月からの再開による利用減が重なり、大型イベントやPR強化を中心に挽回策を打ちましたが、稼働率や利用者数、部屋利用料金が減少しました。結果として、稼働率はコマベースで 53.6%(達成率 95.7%)、時間ベースで 47.9%(達成率 90.4%)となりました。</p> <p>(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて 利用料金収入は、稼働率に連動するものであり、4,023 千円(達成率 91.4%)となりました。</p> <p>(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の取り組みについて 令和5年度は、センターまつりや開館35周年記念イベント、スタンプラリー、ライトアッププロジェクト、本牧かぼちゃまつり、コンサートなどの大型イベントを多数開催し、子ども層を活気づけました。 講座では、昨年度に引き続き館外での活動や健康づくり系の講座を多めに提供しました。コロナ禍の後遺症が続いているのか、高齢者向け講座や料理教室への申込みがまだ復調していません。一方で、女性初心者向け麻雀教室が増えたのも大きな特徴でした。なお、館外での活動では、近隣施設との共催事業が多く、引き続き連携を深めていく所存です。</p> <p>(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて ■地区センターまつりの実施 11月23日に4年ぶりに開催。従来からのステージ発表、フリーマーケット、弁当販売に加え、子ども縁日コーナーの増設や新鮮野菜の販売を行い、大盛況となりました。 ■開館35周年記念イベントの開催 5月21日に防災の知識習得や体験学習をしていただきました。親子連れで賑わいました。 ■ネット予約システム導入に伴うホームページによる広報・PRの強化 ネット予約化に伴い、システムの疑問点に早急に回答すること、また、地区センターをより知っていただくことが必要と考え、地区センターだより(紙媒体)を月刊化し、これをホームページにも掲載し、デジアナ併用で情報発信の強化に努めました。 ■新型コロナウイルスの制限解除に伴う対応 5類への移行に伴い、検温・手指消毒は個人判断とし、テーブル上の仕切り板を外し、飲食基準も概ねコロナ前の基準に戻しました。なお、窓開け・換気扇による換気対策は引き続き行っています。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

令和5年度 利用料金収入実績 ①

	部屋利用料A (円)	キャンセル料B (円)	領収金額合計 ①=A+B (円)	収入目標額② (円)	達成率①/② (%)	前年同月収入額 ③ (円)	前年同月比 ①/③ (%)
4月	372,450	2,850	375,300	366,660	102.4%	328,290	114.3%
5月	354,870	1,260	356,130	366,660	97.1%	342,090	104.1%
6月	326,000	1,650	327,650	366,660	89.4%	388,220	84.4%
7月	346,350	1,800	348,150	366,660	95.0%	428,120	81.3%
8月	314,150	5,160	319,310	366,660	87.1%	388,280	82.2%
9月	323,530	7,510	331,040	366,660	90.3%	393,860	84.1%
10月	341,000	6,870	347,870	366,660	94.9%	382,720	90.9%
11月	306,900	3,230	310,130	366,660	84.6%	394,220	78.7%
12月	302,300	4,170	306,470	366,660	83.6%	334,350	91.7%
1月	317,520	600	318,120	366,660	86.8%	369,970	86.0%
2月	326,780	8,250	335,030	366,660	91.4%	370,300	90.5%
3月	344,170	3,600	347,770	366,740	94.8%	406,840	85.5%
合計	3,976,020	46,950	4,022,970	4,400,000	91.4%	4,527,260	88.9%

【説明】

部屋利用料+キャンセル料=領収金額合計

- * 部屋利用料…部屋の利用に対する收受金額
- * キャンセル料…キャンセルに対する收受金額

令和5年度 利用料金収入実績 ②

	部屋利用料A (円)	キャンセル料B (円)	領収金額合計 ①=A+B (円)
4月	372,450	2,850	375,300
5月	354,870	1,260	356,130
6月	326,000	1,650	327,650
7月	346,350	1,800	348,150
8月	314,150	5,160	319,310
9月	323,530	7,510	331,040
10月	341,000	6,870	347,870
11月	306,900	3,230	310,130
12月	302,300	4,170	306,470
1月	317,520	600	318,120
2月	326,780	8,250	335,030
3月	344,170	3,600	347,770
合計	3,976,020	46,950	4,022,970

【説明】

部屋利用料+キャンセル料=領収金額合計

* 部屋利用料…部屋の利用に対する收受金額

* キャンセル料…キャンセルに対する收受金額

令和5年度 利用状況(団体+個人利用)

月別	開館日数 (日)	入館者数(人)			利用層別利用数(人)										前年度 合計(B)	前年比(%) A/B
		男性	女性	合計(A)	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生等	一般 (男性)	一般 (女性)	65歳以上 (男性)	65歳以上 (女性)	合計		
4月	29	5,101	6,707	11,808	252	615	310	110	59	2,356	4,003	2,065	2,038	11,808	5,851	201.8%
5月	30	2,161	3,046	5,207	321	476	330	214	67	741	1,354	724	980	5,207	6,439	80.9%
6月	29	1,837	2,765	4,602	249	593	367	204	89	467	1,212	619	802	4,602	6,768	68.0%
7月	30	2,293	2,987	5,280	329	803	331	209	91	805	1,395	637	680	5,280	15,772	33.5%
8月	30	2,174	3,029	5,203	365	761	560	222	88	604	1,291	598	714	5,203	6,678	77.9%
9月	29	2,233	3,436	5,669	451	858	334	121	63	694	1,541	677	930	5,669	6,830	83.0%
上半期計	177	15,799	21,970	37,769	1,967	4,106	2,232	1,080	457	5,667	10,796	5,320	6,144	37,769	48,338	78.1%
10月	30	2,481	3,640	6,121	554	950	478	252	62	714	1,566	634	911	6,121	6,754	90.6%
11月	29	3,126	4,225	7,351	751	1,025	420	266	109	997	1,888	826	1,069	7,351	7,039	104.4%
12月	26	2,007	2,819	4,826	295	523	302	319	107	579	1,317	611	773	4,826	6,273	76.9%
1月	26	1,983	2,916	4,899	227	460	219	226	118	671	1,248	762	968	4,899	6,380	76.8%
2月	28	2,111	3,104	5,215	326	470	517	251	79	628	1,360	625	959	5,215	7,271	71.7%
3月	30	2,523	3,504	6,027	461	943	467	254	107	686	1,497	698	914	6,027	7,594	79.4%
下半期計	169	14,231	20,208	34,439	2,614	4,371	2,403	1,568	582	4,275	8,876	4,156	5,594	34,439	41,311	83.4%
年間合計	346	30,030	42,178	72,208	4,581	8,477	4,635	2,648	1,039	9,942	19,672	9,476	11,738	72,208	89,649	80.5%

月別	居住区別利用数(人)				その他利用数		
	区内	区外	市外	合計	体育室 (人)	レクホール (人)	図書貸出 冊数
4月	10,708	967	133	11,808	2,149	0	0
5月	4,446	644	117	5,207	1,736	0	0
6月	3,974	541	87	4,602	1,278	0	0
7月	4,468	683	129	5,280	1,372	0	0
8月	4,494	608	101	5,203	1,388	0	0
9月	4,908	632	129	5,669	1,407	0	0
上半期計	32,998	4,075	696	37,769	9,330	0	0
10月	5,347	633	141	6,121	1,433	0	0
11月	6,348	834	169	7,351	2,712	0	0
12月	4,105	590	131	4,826	1,764	0	0
1月	4,103	636	160	4,899	1,220		
2月	4,379	714	122	5,215	1,654		
3月	5,142	731	154	6,027	1,763		
下半期計	29,424	4,138	877	34,439	10,546	0	0
年間合計	62,422	8,213	1,573	72,208	19,876	0	0

令和5年度「本牧地区センター」収支予算書兼決算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	23,126,000	0	23,126,000	23,126,000	0	横浜市より 消費税補填分含む
横浜市から補填金		0	0	120,000	△ 120,000	事業業務委託
緊急雇用創出事業経費		0	0	0	0	
利用料金収入	4,400,000	0	4,400,000	4,022,970	377,030	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,600,000	0	1,600,000	2,344,850	△ 744,850	
自主事業収入		0	0	0	0	
雑入	950,000	0	950,000	831,157	118,843	
印刷代	70,000	0	70,000	47,141	22,859	
自動販売機手数料	600,000	0	600,000	545,384	54,616	
駐車場利用料金収入		0	0	0	0	
その他	280,000	0	280,000	238,632	41,368	自販機電気料、物販(実費負担分)含む
収入合計	30,076,000	0	30,076,000	30,444,977	△ 368,977	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,479,000	0	22,479,000	22,324,503	154,497	
給与・賃金	20,204,000	0	20,204,000	20,401,798	△ 197,798	最賃増額含む
社会保険料	1,200,000	0	1,200,000	1,479,097	△ 279,097	
通勤手当	705,000	0	705,000	256,608	448,392	
健康診断費	187,000	0	187,000	187,000	0	
勤労者福祉共済掛金		0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	183,000	0	183,000	0	183,000	
事務費	1,099,000	0	1,099,000	1,180,538	△ 81,538	
旅費	10,000	0	10,000	6,612	3,388	
消耗品費	160,000	0	160,000	105,837	54,163	
会議賄い費	10,000	0	10,000	13,722	△ 3,722	
印刷製本費	150,000	0	150,000	147,082	2,918	
通信費	300,000	0	300,000	521,052	△ 221,052	
使用料及び賃借料	112,000	0	112,000	122,760	△ 10,760	
横浜市への支払分	112,000	0	112,000	122,760	△ 10,760	目的外使用料（自販機分）
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	150,000	0	150,000	49,500	100,500	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	33,000	0	33,000	29,000	4,000	
職員等研修費	20,000	0	20,000	35,413	△ 15,413	
振込手数料	15,000	0	15,000	10,560	4,440	
リース料	63,000	0	63,000	128,700	△ 65,700	
手数料	66,000	0	66,000	3,300	62,700	
地域協力費	10,000	0	10,000	7,000	3,000	
事業費	1,850,000	0	1,850,000	2,892,088	△ 1,042,088	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,850,000	0	1,850,000	2,892,088	△ 1,042,088	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	903,000	0	903,000	504,485	398,515	
光熱水費	100,000	0	100,000	83,616	16,384	
電気料金	100,000	0	100,000	83,616	16,384	
ガス料金	0	0	0	0	0	
水道料金	0	0	0	0	0	
清掃費	0	0	0	0	0	
修繕費	675,000	0	675,000	249,700	425,300	
機械警備費	0	0	0	0	0	
設備保全費	128,000	0	128,000	171,169	△ 43,169	
空調衛生設備保守	8,000	0	8,000	7,480	520	
消防設備保守	0	0	0	0	0	
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	120,000	0	120,000	163,689	△ 43,689	ゴミルート回収他
共益費	0	0	0	0	0	
公租公課	1,688,000	0	1,688,000	2,174,850	△ 486,850	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	1,668,000	0	1,668,000	2,174,850	△ 506,850	
印紙税	20,000	0	20,000	0	20,000	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	360,000	0	360,000	0	360,000	
本部分	360,000	0	360,000	0	360,000	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対対応費	1,697,000	0	1,697,000	1,546,450	150,550	
支出合計	30,076,000	0	30,076,000	30,622,914	△ 546,914	
差引		0	0	△ 177,937	177,937	

令和5年度 ニーズ対応費使途一覧

No.	実施内容	金額(円)	備考
1	インターネット予約システム 月額費用4月分(ソリマチ)	38,500	
2	利用申込書印刷用プリンター(有隣堂)	16,269	
3	消耗品(4月分)	7,385	消臭剤、消臭ゴミ袋、受付マグネットボード、ホワイトボードマーカー、利用申込書印刷用紙
4	コロナ対策費(4月分)	12,793	消毒用使い捨てクロス、使い捨てモップシート、
5	インターネット予約システム 月額費用5月分(ソリマチ)	38,500	
6	35周年記念イベント「防災フェア」	42,187	イベント消耗品、講師手土産、飲料、参加者弁当43個
7	消耗品(5月分)	2,063	掲示板用MAX針、ラベルタックシール
8	コロナ対策費(5月分)	7,881	ハンドソープ、消毒用使い捨てクロス
9	インターネット予約システム 月額費用6月分(ソリマチ)	38,500	
10	印刷機インク(有隣堂)	6,820	
11	花苗代金(本牧ガーデン・花こ・HAC)	4,069	グリーンカーテン、玄関横プランター
12	消耗品(6月分)	15,409	アリの巣コロリ、乾電池、定期刊行物、蛍光灯、ガラスクリーナー
13	コロナ対策費(6月分)	2,405	使い捨てモップシート
14	インターネット予約システム 月額費用7月分(ソリマチ)	38,500	
15	消耗品(7月分)	42,935	トイレ消臭剤、漂白剤、定期刊行物、利用の手引き印刷用紙、トイレ用洗剤、ピクチャーレール、電球、潤滑剤
16	コロナ対策費(7月分)	5,271	消毒用使い捨てクロス
17	インターネット予約システム 月額費用8月分(ソリマチ)	38,500	
18	利用申込書印刷用プリンター(有隣堂)	8,134	
19	ソフトバレーボール用ボール3個	4,700	
20	消耗品(8月分)	43,478	定期刊行物、シールはがし、利用申込書印刷用紙、掃除機

(様式4)

No.	実施内容	金額(円)	備考
21	コロナ対策費(8月分)	3,761	使い捨てモップシート
22	インターネット予約システム 月額費用9月分(ソリマチ)	38,500	
23	和室襖破れ修理・引手	20,900	
24	正面花壇球根・ジョウロ	5,221	
25	消耗品(9月分)	4,630	定期刊行物
26	インターネット予約システム 月額費用10月分(ソリマチ)	38,500	
27	利用申込書印刷用プリンター(有隣堂)	8,134	
28	印刷機インク(有隣堂)	6,820	
29	花苗代金(緑の推進団体)	5,123	
30	貸出用モバイルバッテリー(ビックカメラ)	5,280	3台
21	センターまつり	12,353	子どもコーナー景品・お菓子、景品用袋
32	換気用扇風機	32,946	3台
33	消耗品(10月分)	29,061	定期刊行物、洗濯洗剤、滑り止めシート、絆創膏、殺虫剤、防球柵カバー、領収書、ファイル、花用土、靴べら、ゴミ袋、排水管洗浄剤、ゴミ用消臭剤、ビニール傘袋、利用申込書印刷用紙、床ウエットシート、トイレ用洗剤、蛍光灯
34	インターネット予約システム 月額費用11月分(ソリマチ)	38,500	
35	印刷機インク・マスター(有隣堂)	22,000	
36	センターまつり	15,953	子どもコーナーポップコーン豆・油・塩・袋、綿菓子用ザラメ・容器・割りばし、参加者弁当20個
37	消耗品(11月分)	45,869	定期刊行物、プランター鉢底石、外部出力変換プラグ、オーディオ変換プラグ、卓球台ストッパー、養生テープ、掃除機
38	コロナ対策費(11月分)	4,063	使い捨てモップシート、
39	インターネット予約システム 月額費用12月分(ソリマチ)	38,500	

(様式4)

No.	実施内容	金額(円)	備考
40	利用申込書印刷用プリンタートナー(有隣堂)	8,134	
41	センターまつり	3,780	機材借入お礼
42	消耗品(12月分)	22,510	定期刊行物、トイレ消臭剤、接着剤、冷感シップ、正月用飾り、変換プラグ、養生テープ、利用申込書用ファイル、受付簿用紙
43	コロナ対策費(12月分)	2,283	消毒用使い捨てクロス
44	インターネット予約システム 月額費用1月分(ソリマチ)	38,500	
45	インターネット予約システム インボイス対応改変手数料(ソリマチ)	62,700	
46	消耗品(1月分)	18,386	定期刊行物、正月用飾り、料理室お玉、マット用ゴム紐、壁紙接着剤、電池、卓球台ストッパー、消毒用ウエットシート
47	コロナ対策費(1月分)	26,627	使い捨てモップシート、ライオガード、ハンドスキッシュ
48	インターネット予約システム 月額費用2月分(ソリマチ)	38,500	
49	利用申込書印刷用プリンタートナー(有隣堂)	8,134	
50	消耗品(2月分)	16,487	定期刊行物、詰替え用洗剤、利用申込書印刷用紙
51	インターネット予約システム 月額費用3月分(ソリマチ)	38,500	
52	インターネット予約システム 追加カスタマイズ手数料(ソリマチ)	66,000	
53	印刷機インク(有隣堂)	6,820	
54	卓球台(ハシモトヤ運動具店)	158,800	
55	貸出用CDラジカセ(ノジマ)	33,088	
56	小会議室 排煙窓 雨漏り修繕(石黒建設)	52,800	
57	2F娯楽コーナー交換用タイルカーペット	28,534	
58	和室日よけ用ロールカーテン(ニトリ)	27,980	
59	バスケットボール、卓球ラケット、バドミントンシャトル(ハシモトヤ運動具店)	18,880	

(様式4)

No.	実施内容	金額(円)	備考
60	消耗品(3月分)	76,311	定期刊行物、ぶつかり防止クッション、マスク、ラップ、人形用防虫剤、洗剤、漂白剤、掃除機用バッテリー、乾電池、充電ケーブル、レコーダー、掃除機、スリッパ、トイレ用洗剤、コピー用紙(カラー・白)、ラベルシール
61	コロナ対策費(3月分)	2,283	消毒用使い捨てクロス
62			
63			
64			
65			
	合計	1,546,450	

令和5年度 自主事業報告書

項番	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	材料費
					募集人数 (人)	延参加人数 (人)	委託料支出 総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収 の有・無	参加費用 (円)	1回1講 師あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
1	一般	ヴォイストレーニング	4月～3月	35	20	517	129,015	258,500	387,515	有	500	11,023・ 11,137	387,515		
2	どなたでも	体験マジック&マジックショー 春休み編	4月	1	10	14	6,823	11,200	18,023	有	800	11,023	11,023		7,000
3	どなたでも	演劇ワークショップ	4月	1	20	19	12,546	9,500	22,046	有	500	11,023	22,046		
4	親子	こぐまの部屋	4月～3月	12	10	165	26,592	0	26,592	無	0	2,205・ 2,227	26,592	えほんの森共催事業	
5	一般	レディース脳トレ麻雀 初級(10 回)	4月～6月	10	12	120	23	72,000	72,023	有	600	6,614	66,139		5,884
6	一般	レディース脳トレ麻雀 おさらい 会(4回)	4月～5月	4	12	48	656	28,800	29,456	有	600	6,614	26,456		3,000
7	一般	レディース脳トレ麻雀 中級(10 回)	4月～6月	10	12	120	139	84,000	84,139	有	700	6,614	66,139		18,000
8	一般	レディース脳トレ麻雀 中中級 (10回)	4月～6月	10	12	120	139	84,000	84,139	有	700	6,614	66,139		18,000
9	一般	レディース脳トレ麻雀 上級(10 回)	6月～10月	10	12	120	6,820	84,000	90,820	有	700	6,682	66,820		24,000
10	一般	体育室でのびのびズンバ(全3 回)	4月～6月	3	25	63	-4,731	37,800	33,069	有	600	11,023	33,069	中スポーツセンター休館支援事業	
11	一般	体育室でのびのびピラティス(全 3回)	4月～6月	3	25	48	-2,344	28,800	26,456	有	600	8,819	26,456	中スポーツセンター休館支援事業	
12	親子	先輩パパの抱っこ・おんぶ講座	4月	1	20	22	4,144	0	4,144	無	0	0	0		4,144
13	一般	手話 おさらい会(全2回)	4月～5月	2	10	18	223	10,800	11,023	有	600	5,512	11,023		
14	親子	ぶらりHONMOKUスタンプラリー	4～5月	3	600	550	0	0	0	無	0	0	0	大鳥中学校コミュニティハウス・本牧原地域ケア プラザ共催事業 ※経費令和4年度で計上済み	
15	一般	春の名曲コンサート	4月	1	60	72	0	61,000	61,000	有	1,000	0	0		61,000
16	一般	初夏の薬膳 座学&おやつ作り	5月	1	12	8	900	8,000	8,900	有	1,000	6,614	6,614		2,286
17	一般	こどもの日おはなし会	5月	1	20	30	2,205	0	2,205	無	0	2,205	2,205	本もく座共催事業	
18	一般	春の森林ヨガ	5月	2	10	15	8,444	12,500	20,944	有	700・1000	17637・ 3307	20,944	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっか け作り・本牧山頂公園共催事業	
19	一般	本牧Ⅷ横浜市営バスで訪ねる 狩場の丘	5月	1	20	16	10,434	3,200	13,634	有	200	0	0	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっか け作り・近隣5施設連携事業共催事業	13,634
20	どなたでも	開館35周年記念イベント防災ス タンプラリー	5月	1	100	151	9,087	0	9,087	無	0	0	0	準備等経費、一部(¥37700)令和4年度で計上 済み	9,087
21	一般	PPバンドでおでかけバッグ	5月	2	8	20	-2,447 9/20	35,000	32,553	有	2500・1500	5,512	11,023		21,530

(様式5)

項番	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	材料費
					募集人数 (人)	延参加人数 (人)	委託料支出 総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収 の有・無	参加費用 (円)	1回1講 師あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
22	一般	みゆき先生の幸せスイーツ 抹茶のロールケーキ	5月	1	16	16	-1,325	24,000	22,675	有	1,500	8,819	8,819		13,856
23	一般	午後のティータイム 魔女の旅行カバン	5月	1	20	24	-150	12,000	11,850	有	500	5,512	5,512		6,338
24	一般	手話	6月～7月	5	8	40	3,558	24,000	27,558	有	600	5,512	27,558		
25	一般	初心者 手話	6月～7月	5	10	50	2,558	30,000	32,558	有	600	5,512	27,558		5,000
26	どなたでも	おもちゃの病院	5.9.11月	3	20	90	11,137	0	11,137	無	0	11,137	11,137		
27	どなたでも	蝶の不思議を知らうプロジェクト	6.7.9.10月	4	15	57	1,523	9,500	11,023	有	500	11,023	11,023	横浜みどりアップ計画 本牧山頂公園・山頂公園 和田山地区愛護会	
28	一般	気軽に味噌作り	6月	2	36	37	2,390	111,000	113,390	有	3,000	15,750	15,750		97,640
29	子ども	こどもお菓子づくり講座～あじさいゼリー～	6月	1	16	15	4,864	7,500	12,364	有	500	5,512	5,512	本牧原地域ケアプラザ・本牧和田地域ケアプラザ 共催事業	6,852
30	一般	サークル体験 気功とツボの健康法	6月～7月	5	5	35	0	21,000	21,000	有	600	0	0	みんなの気功クラブ共催	21,000
31	どなたでも	七夕飾り 七夕短冊に願いを込めて	6月～7月	2	166	166	0	0	0	無	0	0	0		
32	一般	着物リメイク 簡単テクニック	6月～7月	2	8	20	1,023	31,500	32,523	有	3000・1500	5,512	11,023		21,500
33	一般	奥の細道	7月	4	10	40	2,046	20,000	22,046	有	500	5,512	22,046		
34	親子	親子の七夕おはなし会	7月	1	10	14	910	3,500	4,410	有	500	2,205	4,410	本もく座共催事業	
35	親子	ちょっと怖いお話し会&肝試し	7月	1	20	23	-2,395	4,600	2,205	有	200	2,205	2,205	えほんの森共催事業	
36	子ども	キッズダンス	7月～8月	4	16	56	3,581	35,000	38,581	有	625	38,581	38,581		
37	一般	レディース脳トレ麻雀 中中級(10回)	7月～11月	10	12	120	6,322	84,000	90,322	有	700	6,682	66,822		23,500
38	一般	レディース脳トレ麻雀 おさらい会(3回)	7月～8月	3	12	36	452	21,600	22,052	有	600	6,614	19,842		2,210
39	一般	レディース脳トレ麻雀 初級(10回)	8月～10月	10	16	160	-261	96,000	95,739	有	600	6,614	66,139		29,600
40	一般	レディース脳トレ麻雀 中級(10回)	8月～10月	10	12	120	-2,861	83,000	80,139	有	600・700	6,614	66,139		14,000
41	子ども	キッズ防災ランチ	7月	1	12	8	4,053	4,800	8,853	有	600	5,512	5,512	本牧原地域ケアプラザ・本牧和田地域ケアプラザ 共催事業	3,341
42	一般	サークル体験 初心者フラ	7月～9月	6	5	20	0	12,000	12,000	有	600	0	0	フラ マブカハ共催事業	12,000
43	子ども	森のクラフト	7月	2	20	15	9,983	7,500	17,483	有	500	11,023	11,023	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り 間伐材クラフト	6,460

(様式5)

項番	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	材料費
					募集人数 (人)	延参加人数 (人)	委託料支出 総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収 の有・無	参加費用 (円)	1回1講 師あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
44	一般	本牧Ⅷ 知っているようで知らないお馬流しの話&ペットボトルランタンワークショップ	7月	1	20	13	9	2,600	2,609	有	200	0	0	近隣施設5館共催事業・本牧神社	2,609
45	どなたでも	本牧ライトアッププロジェクト	8月	1		165	5,000		5,000	無		0	0	地域連携事業	5,000
46	どなたでも	なか区ブックフェスタ2023参加費	10月～11月	3			4,000		4,000	無		0	0		4,000
47	どなたでも	焼き芋焼けた会場費	11月	1			2,000		2,000	有	500	0	0	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り・本牧山頂公園・キャンプの出来る広場共催事業	2,000
48	小学生から一般	オンリーワンのキラキラポシェット	8月	1	10	7	4,412	9,500	13,912	有	1500・2500	5,512	5,512		8,400
49	どなたでも	本もく座のおはなし会&折り紙(夏野菜)	8月	1	8	4	1,805	400	2,205	有	100	2,205	2,205	本もく座共催事業	
50	一般	サークル体験 水彩画	8月～10月	5	5	15	0	9,000	9,000	有	600			本牧美術会共催事業	9,000
51	子ども	サークル体験 お習字	8月	1	5	2	0	1,200	1,200	有	600			子ども書道共催事業	1,200
52	一般	味噌・塩麴作り	9月	1	16	16	9,700	56,000	65,700	有	3,500	10,500	10,500		55,200
53	一般	シニアスマホ講座	9月	1	15	14	-1,488	7,000	5,512	有	500	5,512	5,512		
54	小学生から一般	オリジナルミュージカル企画	9月～11月	5	20	72	52,538	60,000	112,538	有	1,000	11,137	111,370	地区センターまつり発表講座:防災をテーマとしたミュージカル	1,168
55	一般	ピラティス	9月～11月	6	16	70	8,117	42,000	50,117	有	600	8,352	50,117		
56	一般	ハワイアンキルトでスマホスタンド	9月	1	10	10	4,512	8,000	12,512	有	800	5,512	5,512		7,000
57	親子	十五夜おはなし会&クラフト	9月	1	10	10	705	1,500	2,205	有	500	2,205	2,205	本もく座共催事業	
58	どなたでも	本牧かぼちゃまつり・ハロウィンウィーク	10月	1		900	5,021		5,021	無	0	0	0	地域連携事業・ロビーショーケース季節の飾り	5,021
59	どなたでも	地区センターまつり	11月	1		1533	19,669	41,850	61,519	有	1000・100・50	11,137	22,274		39,245
60	どなたでも	なか区民利用施設スタンプラリー	10月～11月	1		530	0		0	無	0	0	0	中区役所地域振興課連携事業	
61	一般	秋の森林ヨガ	10月	1	10	4	6,819	2,000	8,819	有	500	8,819	8,819	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り・本牧山頂公園共催事業	
62	一般	奥の細道 秋の旅編	10月	3	15	45	1,535	15,000	16,535	有	500	5,512	16,535		
63	一般	大人の森遊び	10月～11月	2	10	14	820	10,500	11,320	有	750	0	0	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り・本牧山頂公園愛護会・本牧山頂公園共催事業	11,320
64	一般	低栄養予防クッキング	10月	1	15	14	720	2,400	3,120	有	200	0	0	中区ヘルスマイト共催事業	3,120
65	一般	本牧Ⅷ 寺家ふるさとの森を訪ねる	10月	1	15	14	13,315	2,800	16,115	有	200	5,000	5,000	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り・近隣施設5館共催事業	11,115

(様式5)

項番	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	材料費
					募集人数 (人)	延参加人数 (人)	委託料支出 総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収 の有・無	参加費用 (円)	1回1講 師あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
66	一般	レディース脳トレ麻雀おさらい会	11月	3	12	36	-1,554	21,600	20,046	有	600	6,682	20,046		
67	一般	レディース脳トレ麻雀中級	11月～	10	16	48	231	110,000	110,231	有	600	11,023	110,231		
68	一般	レディース脳トレ麻雀中々級	11月～	10	16	64	-3,769	124,000	120,231	有	800	11,023	110,231		10,000
69	一般	レディース脳トレ麻雀上級	12月～	10	16	16	18,821	111,300	130,121	有	700	11,023	110,231		19,890
70	親子	親子で楽しむわらべ歌・おはなし会	10月	1	20	23	2,205		2,205	無	0	2,205	2,205	なか区ブックフェスタ2023 えほんの森共催事業	
71	一般	読み聞かせ養成講座	11月	2	10	13	11,080	6,500	17,580	有	500	5568・ 5512	11,080	なか区ブックフェスタ2023 本もく座共催事業	6,500
72	一般	体の歪み・痛み解消体操	11月～4月	5	15	30	2,670	75,000	77,670	有	1,000	12,807	76,845		825
73	子ども～大人	焼き芋焼けた&森で遊ぼう	11月	1	50	52	1,432	26,000	27,432	有	500	5,568	5,568	横浜みどりアップ計画 市民が森に関わるきっかけ作り・本牧山頂公園・山頂公園キャンプの出来る広場実行委員共催事業	21,864
74	どなたでも	手話ダンス	11月	1	10	5	4,568	1,000	5,568	有	200	5,568	5,568		
75	親子	パパママキッチン	11月	1	10		440		440	有	1,000	5,568		本牧原地域ケアプラザ・本牧和田地域ケアプラザ共催事業	440
76	一般	ハワイアンキルトでクリスマスツリー	12月	1	10	7	3,468	15,600	19,068	有	1500・1800	5,568	5,568		13,500
77	一般	本牧四方山夜咄	12月～3月	4	15	76	2,285	22,800	25,085	有	300	0	0	施設連携事業	25,085
78	一般	年末年始を彩るスワッグ	12月	1	10	10	568	25,000	25,568	有	2,500	5,568	5,568		20,000
79	一般	サークル体験 吹奏楽	12月～1月	1	5	2	0	500	500	有	500	0	0	本牧市民吹奏楽団共催事業	500
80	どなたでも	ウインターコンサート	12月	1	150	250	0		0	無	0	0	0	本牧市民吹奏楽団共催事業	
81	子ども	まいまいの人形劇	12月	1	20	26	11,137		11,137	無	0	11,137	11,137		
82	どなたでも	ロビーショーケース クリスマス飾り	11月～12月	1			2,829		2,829	無	0			利用団体 作品展示依頼	2,829
83	一般	みゆき先生の幸せスイーツ チョコレートケーキ	2月	1	12	12	1,057	18,000	19,057	有	1,500	8,909	8,909		10,148
84	親子	本もく座の節分おはなし会&クラフト	2月	1	15	14	527	2,700	3,227	有	500・200	2,227	2,227	本もく座共催事業	1,000
85	一般	タパ柄のトートバッグ	2月～3月	4	8	10	14,773	34,500	49,273	有	6500・4500	5,568	22,273		27,000
86	一般	入門 奥の細道	3月	1	14	14	-1,432	7,000	5,568	有	500	5,568	5,568		
87	親子	本もく座のおひな様おはなし会	3月	1	20	24	2,227		2,227	無	0	2,227	2,227		

(様式5)

項番	募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)	材料費
					募集人数 (人)	延参加人数 (人)	委託料支出 総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収 の有・無	参加費用 (円)	1回1講 師あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)		
88							0		0						
89							0		0						
90							0		0						
		地区センターだより送料	12月	1			1,440		1,440						1,440
		損害保険料(施設外)					4,794		4,794						4,794
		損害保険料(施設内)					62,843		62,843						62,843
		研修講師支払い謝金分源泉税等					1,023		1,023					接遇研修講師謝金源泉税1023	1,023
		コピー用紙等消耗品					8,290		8,290						8,290
合 計				300		7,602	547,238	2,344,850	2,892,088				2,037,857		854,231

令和5年度 維持管理・保守点検 実施状況

No.	実施年月日	実施内容	業者名	点検結果等	対応状況
		図書館が管理主体のため発生せず			

令和5年度 委託内容一覧

No.	委託期間	委託内容	金額 (円)	業者名
		図書館が管理主体のため発生せず		

令和5年度 修繕一覧

No.	修繕年月日	修 繕 箇 所	金 額 (円)	業 者 名
1	令和5年 4月17日	体育室 排煙窓(山側奥) 修繕	249,700	芝工業
2	令和5年 9月29日	和室 襖破れ修繕・引手交換	20,900	臼井住装
3	令和6年 3月14日	小会議室 排煙窓 雨漏り修繕	52,800	石黒建設
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
		合 計	323,400	

令和5年度 備品一覧

No.	品名	形状・その他	単価(円)	購入		廃棄		増減
				数量	年月日	数量	年月日	
1	パソコンハードディスク	自主担当パソコンハードディスク交換修理	49,500	1	2023/4/8			1
2	DHP ProDesk 400 G7 SFF	デスクトップ型パソコン	120,000	1	2023/10/25			1
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
購入			169,500					
廃棄								

(注) 当該年度予算で購入した備品、または廃棄した備品を記入してください。

令和5年度 苦情対応状況報告

No.	年月日	内 容	対 応 結 果
1	令和5年5月21日	利用者アンケートで、「授乳施設が撤去されたが、設置してほしい」との要望がある。その後も、口頭で数回同じ要望を受けている。(当館では、令和5年3月まで2年間設置していたが、月3～4件の利用に対しレンタル料が年間25万円かかり、元の運営方法[空いている部屋を案内]に戻した)	令和6年4月から当館にて週1回子育て相談(中区子ども家庭支援課所管)を再開することになりニーズがさらに高まること、また、R6年度は横浜市市民局によるプレイルーム改善対象の施設となり、6年度内に授乳施設をプレイルーム内に設置する方向で検討中。
2	令和5年5月29日	キッズヨガ団体より、市民局に苦情電話がある。団体登録の審査で、他でもお教室を開き講師が謝金をもらっている団体があるのに、同団体の活動(お教室形態)が営業活動に当たるとの理由から拒否された。なぜダメなのか。	市民局担当の方よりルールを説明して頂き、本人は埒が開かないと思ったのか、話の途中で電話を切った。その後中区地域振興課より、団体が主催して講師を招きお金を払うことはOKだが、講師が主催して参加者を募集しお金を取ることはNG、との確認がある。今回のケースは後者であり、間違った対応はしていないとのことであった。
3	令和5年6月5日、22日、29日	空手団体の講師より、中区地域振興課に団体登録ができないが、当館の態度が悪いとのクレームがある。その後、親御さんが団体を作るという運営形態に変えて団体登録したが、今度はネット予約の手続きが煩雑であるとのクレームがある。	お教室形態の運営では団体登録ができない旨を何度か説明してようやく理解でき、親御さん中心の運営形態に変えて団体登録をして頂いたが、その間のやり取りに不満を抱いたようである。事実が無い非難を区役所に話し対応に苦慮。6/29、地域振興課より本人に状況を説明して頂く。
4	令和5年6月16日、20日	利用者会議に出たバドミントン団体利用者より、中区地域振興課に、館長の説明が横柄だったとか、バスケットのひび割れ修繕は警察を呼んで徹底調査して弁償させるべきだったとの苦情が入る。	利用者会議で同人より、予約キャンセルの簡便化や利用日当日払いなどの要求があったができない旨を館長が説明したことに対して不満だったようである。また、バスケットの弁償については、地域振興課より警察介入は①確定的証拠がなかったこと、②疑わしき団体のメンバーが否認したこと、警察を呼ぶ状況になかったことを説明して頂く。なお、バスケット側に、ダンクならびにぶら下がり厳禁と監視カメラ作動中の注意書きを張る。
5	令和5年7月4日、19日	ヨガ活動団体より、市民局に横浜市の施設では和室のふすまを破った場合、弁償する必要があるのかとの問合せがある。中区地域振興課経由で具体的状況に関する質問があり、今回の弁償が故意または重大な過失に相当するかどうか検討してほしいとの話がある。	5/18に当該団体がヨガではなくてバザーの準備で利用したこと、また、穴を開けた後、弁償するとの申し出があり、ふすま紙張替の見積り金額(9900円)を伝えた所、市民局に問合せがあったもの。本件では当該団体から弁償申し出があったので金額を提示したが、一般的に重大な過失に相当するのは、複数回注意しても守らなかった等の場合であり、7/19に厳重注意にとどめる旨を伝える。
6	令和5年7月20日	行政への苦情が続いていたため、中区地域振興課に今後の対応について相談に伺う。特に、団体登録と利用許可基準に関して再確認を行う。	団体登録や利用許可の判断基準は利用目的と利用内容であり、個人・企業・非営利団体で区別するものではないこと。また、お教室形態や企業の公益活動、商店街・業界の会合、プロの個人利用等の判断基準について個別に指導頂く。
7	令和5年8月28日	コーラス団体の活動再開に当たり講師所属会社より中区役所に団体登録やメンバー募集の件で問合せが入りルールを説明して頂く。これは、当館にて同社に対し講師主導の団体登録やメンバー募集はできない旨を説明したことによる。	中区役所への問い合わせの後、再度講師所属会社と団体メンバーの方に当館利用ルールを説明し、メンバー主体による団体運営とメンバー募集について理解を頂き、活動再開となった。
8	令和5年9月2日	中区長宛てに、土曜日午前活動団体の音(太鼓と笛)に関する苦情がある。	9月12日に中区役所による当館での現地確認があり、従来からの窓閉めに加えカーテン閉めも行うこととする。当該団体に経緯を説明しカーテン閉めに協力頂いたが、残念なことに、その後同団体より地区センター以外で活動するとのキャンセル申し出があった。

(様式11)

No.	年月日	内 容	対 応 結 果
9	令和5年9月5日	<p>投書箱に、「プレイルームのおもちゃを全て出してほしい」とのご意見がある。 (当館では、コロナ禍の中で、比較的小型で口に含んだり、頻繁に接触する可能性のあるおもちゃ[ブロックやぬいぐるみ]は感染予防策として利用を控えていました。)</p>	<p>プレイルームは乳幼児の遊び場として衛生面に特に気を遣っている場所であり、投書時はインフルエンザが流行し始め、新型コロナの感染がかなり増えている状況にあったため、当面今のままとする。また、現在出ている大型のおもちゃ利用やご自身のおもちゃ持参は構わない旨を説明する。 なお、令和6年4月より、中身を吟味した上で古いおもちゃを出している。</p>
10	令和5年11月23日	<p>利用者アンケートで、「もうそろそろ窓際の席以外でも飲食OKにして頂きたい」との意見がある。</p>	<p>本アンケート時点では回答できなかったが、2月の地域連絡会にて4月よりロビー、娯楽コーナーでの飲食については窓際席の限定を外すことに決定する。</p>
11	令和5年12月26日	<p>投書箱に、「2階娯楽コーナーに一人で長時間飲食しながらタブレットを使っている人がいる。机の上に飲み物や食べ物が広がっていて異臭が出て不快である。食事は窓際で手短にとのルールにも反している」とのクレームがある。</p>	<p>ほぼ毎日16時頃から閉館時まで居て、タブレットを見ながらだらだら食いをしており、食事は手短に、また食べ終わった食事は片づけるようにと何度も注意してきた。今回の投書後も、すぐ本人にクレーム内容を説明し、飲食は手短に、また飲食後の片付けと、ゴミは持参のビニール袋やバックに入れてテーブルの上に広げないようにと注意する。注意した直後は気にしているが、時間が経つと元に戻る。</p>

令和5年度 サービス向上及び経費節減努力事項報告

No.	実施時期	内 容	効 果
1	令和5年 4月	卓球台1台直し(ナット外れ)	外注費(1台5,000円)の削減
2	令和5年 6月	バドミントンポール差し込み穴の蓋が穴に入り込み抜けなくなったものの修繕	外注費の削減
3	令和5年 6月	本牧地区センターだよりを7月号より月刊化する(同内容は、館内掲示・ホームページ掲載)	講座案内やお知らせのタイムリーな提供。本牧推し活やサークル紹介による地域・利用者の活性化、親近感醸成
4	令和5年 6月	団体登録手続き前でも利用できる体験利用の導入	初めての利用者など、まだ団体登録していない方への便宜を図る
5	令和5年 7月	中会議室、小会議室、工芸室のイスの接地面のネジ締めを行う	イスの破損、弛んだネジの床面損傷の未然防止
6	令和5年 7月	体育室キャットウォークの排煙窓のチェーンへの油さし	チェーンのサビ止め、長寿命化
7	令和5年 7月	ロビー、娯楽コーナーの卓上注意書きに、「夏場はこまめな水分補給を心掛けましょう」を追加	熱中症予防
8	令和5年 8月	卓球台1台直し(台の裏の金具直し)	外注費の削減
9	令和5年 8月	本牧地区センターだよりの町内会回覧で第四地区南部連合町内会を追加する	従来は、本牧・根岸連合町内会と新本牧連合町内会の2区域であったが、利用者には第四南部の方も多く追加する
10	令和5年 9月	音楽室のイスの接地面のネジ締めを行う	イスの破損、弛んだネジの床面損傷の未然防止
11	令和5年 9月	横浜市のお薬シート回収の10月からの本格化に合わせ、回収BOXを大型化する	横浜市資源循環局政策の一環
12	令和5年12月 ～令和6年1月	全館LED化	横浜市のZero Carbon Yokohama政策の一環
13	令和6年1月	女子更衣室のシャワーヘッドの目詰まり修理	外注費の削減
14	令和6年2月	卓球台1台直し(足フレーム外れの直し)	外注費の削減
15	令和6年3月	2階男子トイレの詰まりの修理	外注費の削減

本牧地区センター 令和5年度下半期(1回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年11月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：81件

設問1 館内の清潔さについて	件数	割合
満足	33	49.3%
やや満足	21	31.3%
ふつう	13	19.4%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	67	

設問2 職員の対応	件数	割合
満足	42	62.7%
やや満足	12	17.9%
ふつう	11	16.4%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
分からない(職員を見かけなかった等)	2	3.0%
合計	67	

設問3 職員の言葉遣い	件数	割合
満足	43	65.2%
やや満足	14	21.2%
ふつう	9	13.6%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	66	

設問4 施設・設備の使いやすさ	件数	割合
満足	28	44.4%
やや満足	17	27.0%
ふつう	14	22.2%
やや不満	4	6.3%
不満	0	0.0%
合計	63	

設問5 当施設を選んだ理由(複数回答可)	件数	割合
サービス	19	22.9%
利便性	35	42.2%
料金	7	8.4%
設備の充実	10	12.0%
予約が取りやすかったから	1	1.2%
その他	11	13.3%
合計	83	

設問6 今日のイベント本牧地区センターまつりは、何で知りましたか	件数	割合
チラシ	10	20.4%
友人・知人から	13	26.5%
館内掲示	13	26.5%
本牧地区センターだより、ホームページ	8	16.3%
広報よこはま	2	4.1%
その他	3	6.1%
合計	49	

設問7 今日のイベント本牧地区センターまつりに、どなたといらっしやいましたか	件数	割合
家族で	33	80.5%
一人で	2	4.9%
友人・知人	6	14.6%
合計	41	

設問8 今日のイベント本牧地区センターまつりに、何人でいらっしやいましたか	件数	割合
1名	2	4.9%
2名	14	34.1%
3名	12	29.3%
4名以上	13	31.7%
合計	41	

本牧地区センター 令和5年度下半期(1回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年11月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：81件

設問9 今日のイベント本牧地区センターまつりで、どのブースがよかったですか	件数	割合
ステージ発表	31	33.0%
子ども縁日	31	33.0%
ワークショップ	5	5.3%
ミニ防災展	2	2.1%
フリーマーケット	10	10.6%
飲食・物品販売	15	16.0%
合計	94	

設問10 今日のイベント本牧地区センターまつりについて、満足度はいかがでしたか	件数	割合
満足	14	42.4%
やや満足	7	21.2%
ふつう	7	21.2%
やや不満	2	6.1%
不満	3	9.1%
合計	33	

設問11 ご自身のことについて ①ご年齢	件数	割合
～15歳（中学生まで）	2	3.7%
16～19歳	12	22.2%
20歳代	2	3.7%
30歳代	17	31.5%
40歳代	12	22.2%
50歳代	3	5.6%
60歳代	3	5.6%
70歳代	1	1.9%
80歳代以上	2	3.7%
合計	54	

設問12 ご自身のことについて ②お住まい	件数	割合
中区内	34	79.1%
横浜市内	7	16.3%
神奈川県内	0	0.0%
神奈川県外	2	4.7%
合計	43	

設問13 ご自身のことについて ③どの交通手段で来館されましたか	件数	割合
自宅から徒歩	13	31.0%
自転車・バイク	13	31.0%
バス	4	9.5%
自家用車	9	21.4%
電車	2	4.8%
その他	1	2.4%
合計	42	

設問14 ご自身のことについて ④どのくらいの頻度で利用されていますか	件数	割合
ほぼ毎日	0	0.0%
週1～2回	10	22.2%
月1～2回	17	37.8%
年に数回	9	20.0%
年に1回	1	2.2%
数年に1回	3	6.7%
はじめて	5	11.1%
合計	45	

本牧地区センター 令和5年度下半期(1回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年11月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：81件

設問15 ご自身のことについて		
⑤日頃、どなたといらっしゃるでしょうか(複数回答可)	件数	割合
一人	3	7.5%
家族、親族	31	77.5%
友人、知人	5	12.5%
団体・サークル	1	2.5%
合計	40	

設問16 ご自身のことについて		
⑥当施設をどのように知りましたか(複数回答可)	件数	割合
前から知っている	29	78.4%
区役所より	1	2.7%
横浜市の広報	2	5.4%
学校関係の紹介	0	0.0%
インターネットで検索	1	2.7%
他の公共施設からの紹介	0	0.0%
知人の紹介	3	8.1%
その他	1	2.7%
合計	37	

設問17 ご自身のことについて		
⑦日頃、どのような目的で利用されますか(複数回答可)	件数	割合
スポーツ	3	6.1%
文化活動	9	18.4%
学習	3	6.1%
読書	15	30.6%
自主事業に参加	1	2.0%
会議	0	0.0%
娯楽	4	8.2%
育児	14	28.6%
その他	0	0.0%
合計	49	

設問18 ご自身のことについて		
⑧日頃、どこを利用されますか(複数回答可)	件数	割合
体育室	6	15.8%
会議室	4	10.5%
工芸室	0	0.0%
音楽室	2	5.3%
和室	0	0.0%
料理室	1	2.6%
図書館	0	0.0%
プレイルーム	15	39.5%
グループ室	0	0.0%
娯楽コーナー	0	0.0%
1階ロビー	10	26.3%
その他	0	0.0%
合計	38	

ご意見、ご要望	回答
清掃が行き届いている 他7件 職員の言葉遣いが丁寧 他2件 職員が優しい、親切 他6件 職員の案内が丁寧 他7件	お褒めの言葉、ありがとうございます。 地区センター職員一同はこの言葉を励みにして、引き続き利用者様目線に立ちましたサービスを提供してまいります。
子連れで食事できる場所がある	ありがとうございます。 決められた場所での食事となりますが、引き続き簡単な食事ができるよう配慮して参ります。
もうそろそろ窓際の席以外でも飲食OKにして頂きたい	ご意見ありがとうございます。 1階ロビーと2階娯楽コーナーはオープンスペースであり、まだコロナ感染リスクが少なからず高い状況にあることから、窓際席で手短かに食事をとって頂くことをお願いしてきました。 当館では令和6年4月より概ねコロナ禍前の飲食基準に戻すことを決めました。ご要望のロビーや娯楽コーナーにての飲食については、「窓際の席」という限定を外します。
プレイルームで遊べるおもちゃを増やしてほしい	ご意見ありがとうございます。 プレイルームは乳幼児の衛生面への配慮から、コロナ禍で比較的小型で口に含んだり頻繁に接触する可能性のあるものは控えて来ました。現在出しているのは比較的大型のものに限定しています。今後おもちゃを増やしたいと考えていますが、衛生面に配慮しながら検討して参ります。 なお、ご家庭のおもちゃをご持参されることについては従来通り構いません。
トイレの和式は古い、洋式を増やしてほしい	ご不便をおかけして、申し訳ございません。 トイレの洋式化については、当館からも横浜市に要望していますが、予算の制約の中、毎年和式から洋式への工事が順次進められています。今しばらく時間がかかることに、ご理解の程お願い申し上げます。
《興味のあるイベント・講座は》 子どもが楽しめるイベント、焼き芋やけた、バザー、ハワイアンキルト、パソコン、ネイル	ご意見ありがとうございます。 頂きましたご意見は今後のイベントや講座の参考とさせていただきます。中でも子育て支援や子どもの育成は、横浜市が最も力を入れている課題の一つであり、地区センターでの取り組みをより強化していこうと検討しています。
《本牧地区センターまつりへの不満点》 ・子ども縁日のチケットが早々に売り切れたこと ・飲食の販売が、一部を除き、早々に完売したこと	地区センターまつりは4年ぶりの開催であったこと、また、今回は催し物を増やしたこともあり、来場者が4年前より大幅に増え、子ども縁日の景品付きゲーム券や飲食物の販売が午前中早々に完売となる所が多数出ました。楽しみにして来られた方には誠に申し訳ありませんでした。 子ども縁日では、材料が確保できた綿あめを最後まで続けたり、景品のなくなったゲームも無料で遊べるようにするなどの対応をしました。 また、コッペパンや弁当につきましては、一部追加で作って頂きましたが、それでもすぐに完売となりました。 次回は、今回のケースを教訓にできるだけ柔軟な対応ができるよう検討して参ります。

本牧地区センター 令和5年度下半期(2回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年12月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：108件

設問1 館内の清潔さについて	件数	割合
満足	56	54.9%
やや満足	24	23.5%
ふつう	22	21.6%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	102	

設問2 職員の対応	件数	割合
満足	58	58.0%
やや満足	28	28.0%
ふつう	14	14.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
分からない(職員を見かけなかった等)	0	0.0%
合計	100	

設問3 職員の言葉遣い	件数	割合
満足	57	60.0%
やや満足	23	24.2%
ふつう	15	15.8%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	95	

設問4 施設・設備の使いやすさ	件数	割合
満足	36	46.8%
やや満足	18	23.4%
ふつう	21	27.3%
やや不満	2	2.6%
不満	0	0.0%
合計	77	

設問5 当施設を選んだ理由(複数回答可)	件数	割合
サービス	9	11.4%
利便性	40	50.6%
料金	11	13.9%
設備の充実	12	15.2%
予約が取りやすかったから	5	6.3%
その他	2	2.5%
合計	79	

設問6 今日のイベント「ウィンターコンサート」は、何で知りましたか	件数	割合
チラシ	10	12.0%
団員・友人・知人から	30	36.1%
館内掲示	11	13.3%
本牧地区センターだより、ホームページ	15	18.1%
広報よこはま	17	20.5%
その他	0	0.0%
合計	83	

設問7 本牧市民吹奏楽団の演奏を聴くのは何回目ですか	件数	割合
はじめて	43	42.6%
2~5回目	30	29.7%
6~9回目	13	12.9%
10回目以上	15	14.9%
合計	101	

設問8 今日の「ウィンターコンサート」の開始時間について	件数	割合
早い	1	1.2%
ちょうど良い	85	98.8%
遅い	0	0.0%
合計	86	

設問9 今日の「ウィンターコンサート」の演奏時間について	件数	割合
短い	1	1.4%
ちょうど良い	72	98.6%
長い	0	0.0%
合計	73	

設問10 今日の「ウィンターコンサート」も休憩時間について	件数	割合
あった方が良い	50	68.5%
なくても良い	23	31.5%
合計	73	

設問11 ご自身のことについて ①ご年齢	件数	割合
9歳以下	4	3.8%

設問12 ご自身のことについて ②お住まい	件数	割合
中区	85	83.3%

本牧地区センター 令和5年度下半期(2回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年12月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：108件

10～15歳（中学生迄）	11	10.5%
16～19歳	0	0.0%
20歳代	3	2.9%
30歳代	8	7.6%
40歳代	9	8.6%
50歳代	14	13.3%
60歳代	18	17.1%
70歳代	27	25.7%
80歳代以上	11	10.5%
合計	105	

横浜市内	12	11.8%
神奈川県内	4	3.9%
神奈川県がい	1	1.0%
合計	102	

本牧地区センター 令和5年度下半期(2回目)アンケート結果

この度はお忙しい中、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。
この度のアンケート調査に関し、結果をご報告いたします。

実施期間：2023年12月23日

対象者：本牧地区センター利用者

実施件数：108件

設問13 ご自身のことについて ③どの交通手段で来館されましたか(複数回答可)	件数	割合
徒歩	36	33.6%
自転車・バイク	18	16.8%
バス	34	31.8%
自家用車	15	14.0%
電車	4	3.7%
その他	0	0.0%
合計	107	

設問14 ご自身のことについて ④どのくらいの頻度で利用されていますか	件数	割合
ほぼ毎日	4	4.3%
週1~2回	24	26.1%
月1~2回	18	19.6%
年に数回	30	32.6%
年に1回	4	4.3%
数年に1回	5	5.4%
初めて	7	7.6%
合計	92	

設問15 ご自身のことについて ⑤日頃、どなたといらっしゃるかと(複数回答可)	件数	割合
一人	34	37.0%
家族、親族	33	35.9%
友人、知人	17	18.5%
団体・サークル	8	8.7%
合計	92	

設問16 ご自身のことについて ⑥当施設をどのように知りましたか(複数回答可)	件数	割合
前から知っている	64	74.4%
区役所より	2	2.3%
横浜市の広報	10	11.6%
学校関係の紹介	0	0.0%
インターネットで検索	3	3.5%
他の公共施設からの紹介	0	0.0%
知人の紹介	6	7.0%
その他	1	1.2%
合計	86	

設問17 ご自身のことについて ⑦日頃、どのような目的で利用されますか(複数回答可)	件数	割合
スポーツ	4	4.3%
文化活動	11	11.7%
学習	0	0.0%

設問18 ご自身のことについて ⑧日頃、どこを利用されますか(複数回答可)	件数	割合
体育室	17	25.4%
会議室	11	16.4%
料理室	1	1.5%

ご意見、ご要望	回答
清掃、シートがきれいに敷いてある、カラーが統一されている 他 8件	<p>お褒めの言葉、ありがとうございます。</p> <p>地区センター職員一同はこの言葉を励みにして、引き続き利用者様目線に立ちましたサービスを提供してまいります。</p>
職員の言葉遣いが丁寧、やさしい、わかりやすい、にこやか、他 8件	
職員が優しい、感じの良い挨拶、いつも笑顔、丁寧、質問にすぐ答えてくれる 他11件	
とても使いやすい、2階が落ち着いていて読書ができる	
利用時の手続きがわかりにくい	<p>ご不便をおかけして申し訳ありません。</p> <p>令和5年(2023年)6月よりネット予約に変更し、団体登録を改めて実施したこと、また、予約を2か月先同日の利用を抽選で行う「抽選予約」と2か月先未満の日を抽選日明けから先着順で受け付ける「利用予約」の2つからなるシステムに変更しましたが、ネット操作が必要なことから、ご不便をおかけしている方がおられ、誠に申し訳ありません。</p> <p>団体登録の手続きやネット操作でお困りの場合は、受付または電話にてお答えしております。また、ネット（スマホやパソコン）に不慣れな方向けには、ネットではなく受付や電話にて予約を受け付ける代行入力もっておりますので、ご遠慮なくご利用ください。</p> <p>その他ご不明な点がございましたら、受付または電話にお問い合わせいただくか、本牧地区センターのホームページの利用案内欄をご参照ください。</p>
冷暖房の使用が不自由な時がある	<p>館内の空調システムは、「換気」が一年を通して稼働し、「冷暖房」は全館空調と部屋別空調からなり、全館空調は一年を冷房と暖房の期間に分けて切り替えるため固定的ですが、部屋別空調は全館空調を前提にオン/オフを毎日即時に切り替えることができます。</p> <p>令和5年の場合で言えば、全館空調を暖房に切り替えた後も暑い日が続き、換気をずっと回しても暑かったという日が2週間ほど続きました。暑かったり寒かったりする場合は、受付に言って下さい。対応可能なものは対応いたします。</p>
地区センターと中図書館の2階通路を開けてほしい	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>中図書館と本牧地区センターは管理・運営者が異なり、本来仕切られているものですが、消防法上複合施設ということでもしもの災害の場合に備え通路を設けています。当該通路は災害時のみ開けるものとしております。</p>
1階正面玄関裏の女子トイレで、ベビーキープのあるトイレが和式なので洋式にしてほしい	<p>ご不便をおかけして、申し訳ございません。</p> <p>当該トイレは中図書館が管理しているものであり、中図書館に伝えておきます。なお、横浜市の公共施設のトイレの洋式化は、横浜市の予算の中で毎年順次進められています。</p>
<p>《興味のあるイベント・講座は》</p> <p>高齢者向け健康に関するもの、子ども向け交通安全・防災無料イベント、スポーツ体験、傾聴サークル、合唱、オーケストラ演奏、エレキギターコンサート、演劇、映画</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>頂きましたご意見は今後のイベントや講座の参考とさせていただきます。中でも子育て支援や子どもの育成は、横浜市が最も力を入れている課題の一つであり、地区センターでの取り組みをより強化していくと検討しています。</p>
<p>《ウィンターコンサートへのご意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座るとステージが全く見えない。 ・前席は子ども優先してほしい。 ・モスキート音のような音が気になった。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ステージが見えないとか、前席を子ども優先にできないかは、当方にも理解するところでありませす。イスを列ごとに交互にズラすとか、ベンチ席を開放するなど、少しでも多数の方が演奏者を見れるようにとの配慮を行っていますが、演台の高さに限界があり、また、早く来場された方との公平性の観点から、今のような状況になっています。</p> <p>モスキート音については、スピーカーのエコーあるいはマイクが何らかの音を拾っていた等が原因として考えられますが、調査してみます。</p>

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
利用者サービス	(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映			
	■利用者ニーズの把握方法(P.12)			
	●ご意見箱・横浜市民の声/随時	継続	継続	B
	●アンケート 利用団体/随時 利用者/年1回	継続	継続	B
	●会合への参加(自治会等)/年2回	継続	継続	B
	●中区他施設との情報共有	自主事業を通じ情報共有・共催事業を強化	継続	B
	■苦情対応体制の構築と苦情対応(P.12)			
	●苦情対応マニュアルの更新/年1回	継続(ネット予約切替時の団体認可基準で、区役所に基準を再確認し、丁寧に説明し理解を得る)	継続	B
	●苦情等のデータ化/随時	継続	継続	B
	業務運営	オ 利用者サービス向上の取組(P.12)		
■全職員の資質向上による利用者対応				
●業務マニュアルの更新/年1回		ネット予約に伴う業務マニュアルの作成。インボイス導入に伴う追加。	継続	B
■施設の魅力向上・利便性向上の取組み				
●お湯ポットの設置		継続	継続	B
●空気清浄器の設置/プレイルーム		継続	継続	B
●不用品交換の掲示板設置		継続	継続	B
●チェス・UNO・知恵の輪、等の無料貸出し		継続	継続	B
●健康やボランティアに関する情報を整備		継続	継続	B
●障がい者によるパンの販売(オリブ工房からの出張販売)		継続(就労困難者支援「パン屋のおやじ」を追加)	継続	B
●血圧測定器・体重計の設置		継続	継続	B
■快適な利用環境の提供				
●巡回清掃/日3回、6S活動の徹底		継続	継続	B
●塩素系溶液による清掃/随時(主に茶器、什器備品)		継続	継続	B
●老眼鏡の設置		継続	継続	B
●受付に耳マーク・筆談機の設置		継続(認知症サポーター養成講座を全員受講)	継続	B
■無料Wi-Fiスポットの設置				
●設備更新による接続環境の改善/対象年齢の見直し		継続	継続	B
(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制				
■管理運営体制				
●館長/1名		継続	継続	B
●副館長/2名		継続	継続	B
●コミュニティスタッフ/12名		継続	継続	B
●クリーンスタッフ/2名		継続	継続	B
■情報共有と業務品質確保に向けた会議(P.6)				
●朝礼/毎日		継続	継続	B
●安全衛生推進会議/月1回		継続	継続	B
●運営会議/月1回(館長・副館長、本社統括担当者等)		継続	継続	B
●館長連絡会議/年4回(清光社主管 地区センター館長会議)		継続	継続	B
●地区センター委員会/年2回		継続	継続	B
●利用者会議/年2回		継続(出席者をオープン化)	継続	A
ウ 緊急時の体制と対応計画(P.9)				
■施設設備の故障、事故、犯罪等を予防する具体的な計画や体制				
●危険源改善箇所申告書の更新/毎月		継続	継続	B
●危機管理マニュアルの更新/年1回		継続	継続	B
■防災計画を踏まえた発災時対応や防災への取組み				
●防災訓練の実施/年2回		継続	継続	B
●AED講習の受講/全職員、資格全員取得		継続(7月に全員普通救命講習修了証を取得)	継続	B
●富士山火山活動時の活動用具の準備		(指定管理者事業計画から)提案 火山灰除去作業の必要用具を常備する	継続	B
(4)ア 設置理念を実現する運営内容(P.10)				
■目標数値の設定				
●利用者数/年 R5:84,000人、R6:70,000人		未達(R5実績:72,208人)※期日前投票の減(R5はR4に対し▲3000人、計算方法の変更(連続コマの積算なし)により▲10%、優先予約廃止や中スポ再開等に伴う稼働率減で▲10%。一方、センター祭り等の大型イベントで+3000人を挽回。	大型イベントによる視野拡大、自主事業の事後サークル化、サークル活動の掘り起こしにより、R5実績66,208人(期日前投票6000人除く)から5%増となる70,000人を目指す。	B
●稼働率 R5:56%(コマベース) R6:56%(コマベース) R5:53%(時間ベース) R6:50.5%(時間ベース)		未達(R5実績はコマベースで53.6%、時間ベースで47.9%)※優先予約廃止や中スポ再開、ネット予約導入時のお教室団体見直し、ネット不慣れが原因。	上記施策により、R5実績から+5%増となる目標値を目指す。	B
●指定管理者有責事項/0件		継続	継続	B
■品質確保のセルフモニタリングの実施				
●館長/月1回		継続	継続	B
●統括担当者/年1回		継続	継続	B

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価
イ 利用促進策(P.10)				
■多様な広報活動・利用促進活動の実施				
	●広報よこはま中区版/毎月	継続	継続	B
	●地区センターだより/四半期ごと	継続(7月より毎月発行とする)	継続	A
	●ホームページ/随時	継続(7月より地区センターだよりを毎月掲示)	継続	B
	●ポータルサイト/随時	継続	継続	B
	●テレビ神奈川・神奈川新聞、タウンニュース等/随時	継続	継続	B
	●ポスティング/随時	継続	継続	B
	●施設利用説明会/随時	継続	継続	B
■新規サークル設立支援				
	●新規サークル設立	継続(事後サークル1件)	継続	B
■読書活動推進の取組み				
	●読書フェスティバルへの参加	継続	継続	B
	●中図書館との連携	継続	継続	B
	●市民読書の日に読み聞かせイベント、夜の読書会(成人対象)を実施	継続	継続	B
■日常運営の創意工夫による利用促進の取組み				
	●期間限定で予約のないロビー(1F,2F)を学習スペースとして開放/随時	継続	継続	B
	●季節に合わせた館内装飾(正月、七夕、クリスマス等)	継続	継続	B
	●活動条件により利用優先回数を拡大	4月より特別優先団体(福祉関係)を除き、優先予約制度を廃止	同左	B
	●作品展示・活動発表(地区センターフェスタ以外)の拡充	継続	継続	B
ウ 利用料金の設定について				
■利用料金設定について				
	●当日の1時間単価貸し	継続	継続	B
■利用促進につながる割引等の実施				
	●スタンプカード割引の導入(和室、料理室)	実施に向け検討	検討	B
	●新規サークル優先予約	継続(事後サークル、体験利用導入)	継続(事後サークル、体験利用)	B
	学割(高校生・大学生学生証の提示10%割引)	検討	検討	B
	夜間割引(夜間の稼働率向上の為(10%))	検討	検討	B
	住民票等区役所で発行する各種証明書郵送セット	検討	検討	B
	印紙、切手の用意	検討	検討	B
キ 本市重要施策に対する取組(P.13)				
■情報公開				
	●事業計画書/年1回	継続	継続	B
	●事業報告書/年1回	継続	継続	B
	上記をホームページで公開	継続	継続	B
■環境への配慮				
	●緑のカーテンの設置/夏季年1回	継続	継続	B
	●うちわの設置/夏季年1回	コロナ禍で中止していたものを復活	継続	B
■市内中小企業優先発注/随時				
	●市内中小企業優先発注/随時	継続	継続	B
■地元中学校の職業体験受入/年1回				
	●地元中学校の職業体験受入/年1回(個別に対象校にアプローチ)	1月に大鳥中学校2学年2名を受入	継続	B
■食育・地産地消の取組み				
	●地元食材を活用した料理教室の実施✓	実施に向け検討	検討	B
(5) 自主事業計画				
■インフォメーションボードの設置(P.14)				
	●ボランティア・サークル団体等の紹介/年1回	継続	継続	B
■本牧地区センターまつりを秋または春に実施。年1回				
	●中図書館・オリブ工房との連携開催	11月にセンターまつりを開催(但し、オリブ工房祭は保護者の意向で別日に実施)	開催予定	B
■アウトリーチ活動/年1回				
	●山頂公園、本もく座との連携	継続	継続	B
■自主事業計画				
	●年257回(自主事業計画参照)R5:年259回✓	達成(R4実績286回)	通常の自主事業に加え、開館35周年記念イベント(5/21)やセンター祭り(11/23)を実施予定	B
(6) 施設の維持管理計画				
■維持管理年間作業計画の策定(P.15)				
	中図書館の計画に協力	継続	継続	B
■貸出備品の保守点検業務(P.15)				
	●備品管理簿の照合/年1回	継続	継続	B
教育	事業計画書 (3)イ 個人情報保護等の体制と研修計画			
	■個人情報保護責任者の設置(P.8)			

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標 に対する実績	今後の取組 (改善計画)	自己評価	
	●館長を個人情報保護責任者として任命	継続	継続	B	
	■個人情報保護マニュアルの整備と遵守				
	●個人情報保護マニュアルの更新/年1回	継続	継続	B	
	●理解度チェックテストの実施/年1回	継続	継続	B	
	●機密保持誓約書の取り交わし/入社時	継続	継続	B	
	■個人情報漏洩対策				
	●個人情報漏洩賠償保険の加入/年1回	継続	継続	B	
	■セルフモニタリング・監査の実施				
	●統括責任者/年1回	継続	継続	B	
	■研修体制・具体的な計画(P.8)				
	●指定管理者知識研修/年1回	継続	継続	B	
	●人権研修/年1回	継続	継続	B	
	●接遇向上研修/年1回	継続	継続	B	
	●個人情報保護研修/年1回	継続	継続	B	
	●コンプライアンス研修/年1回	継続	継続	B	
	●サービス介助研修/年1回	検討	検討	B	
	●障がい者対応研修/年1回 (オリブ工房との連携)	継続	継続	B	
	●防災訓練・避難訓練・事故対応訓練/年2回	継続	継続	B	
	●公共建築物管理者研修/年1回	継続	継続	B	
	●横浜市の事例発表会/年1回	継続	継続	B	
	●安全衛生管理者会議/年4回	継続	継続	B	
	■資格取得支援				
	●サービス介助手/1名 (館長の資格取得を目指す)	取得に向け検討	検討(副館長1名が取得を目指す)	B	
	●横浜防災ライセンスリーダー (館長・副館長の資格取得を目指す)	継続(館長が生活資機材取扱リーダー取得)	継続	B	
	財務	事業計画 (7)ア 収入計画の考え方(P.16)			
		■収入計画の設定			
		●利用料金/R5:4,400千円、R5:4,230千円	未達(R5実績:4,023千円)※稼働率減に伴う。	利用者数、稼働率向上に向けた施策に同じ。	B
		●自主事業収入/R5:1,600千円、R6:1,800千円	達成(R5実績:2,224千円)※女性向け麻雀教室の増による。	麻雀教室の一部サークル化に伴い算出。	A
		●雑入/R5:950千円、R6:875千円	未達(R5実績:916千円)※印刷機の外部利用をPRしたが近隣学校の方が安く未達。	R5年が猛暑であったことも考慮し、昨年並みを目指す。	B
		イ 増収策について(P.16)			
	■雑入の増収策				
	●ケータイ充電サービス	継続	継続	B	
	●バナー広告/2件	検討	検討	B	
	ウ 支出計画(P.17)				
	■支出計画管理体制の構築				
	●原価管理分析と改善徹底/月1回	継続	継続	B	
	■自主事業での工夫				
	●魅力ある講座設定と参加料の設定	継続	継続	B	
	■収入利益の還元				
	●社会福祉協議会等への寄付/10万円	継続	継続	B	
その他 (上記4つの 視点以外の 項目があれば 追記)	■地域まつり、イベント等への参加				
	●インターネット予約の導入	6月1日利用分から導入(3月25日稼働)	継続	A	
	■地域まつり、イベント等への参加				
	地域活動・イベントへの参加 (くら祭り、かぼちゃ祭り、お馬流し他)	継続	継続	B	
利用者等の 意見	■利用者の意見				
	●利用者からの意見・要望はできるだけ迅速に対応	継続	継続	B	
		ご意見の内容		対応方向	
		暑さに対する冷房要請	節電より熱中症対策優先で柔軟に温度設定	B	
		空調機が冷暖房切換の暑い、寒いという要望	扇風機や電気ストーブの貸し出し、購入設置	B	
		授乳場所の要望	空いている部屋を案内。プレイルーム内設置検討中	B	
		傘を貸してほしい	忘れ物の期限切れを貸している	B	
		ピアノに湿気は悪いなど、湿気・空調に関する要望	結露対策や換気で毎日各番の引継ぎ確認	B	
		ネットに不慣れな人への予約支援	受付台にタブレットを置き空き状況を照会可能に	B	
		コロナ禍で仕舞ったおもちゃを出してほしい	衛生面処置の上、出す	B	

＜自己評価＞

- A: 計画、目標を上回って実施
- B: 計画、目標を保持して実施
- C: 計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組(改善計画)欄に意見等に対する対応を記載